

令和8年度

高等学校  
中堅教諭等資質向上研修

兵庫県教育委員会

# 目 次

	ページ
1 高等学校中堅教諭等資質向上研修 実施要項	1～2
2 高等学校中堅教諭等資質向上研修 実施細則	3
3 令和8年度 兵庫県教職員研修計画	4
4 兵庫県教員資質向上指標	5
5 高等学校中堅教諭等資質向上研修	
全体図	6
1年間の流れ	7
令和8年度 校外研修 講座一覧	8～11
6 令和8年度高等学校中堅教諭等資質向上研修 校外研修	
(1) 共通研修	12
(2) 教科指導研修 国語	13
地理歴史・公民	14
数学	15
理科	16
保健体育	17
芸術（音楽）	18
芸術（美術）	19
芸術（書道）	20
外国語（英語）	21
家庭	22
情報	23
農業・水産	24
工業	25
商業	26
看護	27
福祉	28
(3) 教育課題研修 神戸女子大学	29
神戸親和大学	30
武庫川女子大学	31
関西学院大学	32
兵庫教育大学	33～34
甲南大学	35
県立神出学園	36
JICA 関西	37
県立但馬やまびこの郷	38
県立総合教育センター	39～41
7 高等学校中堅教諭等資質向上研修	
研修計画調書 (様式1)	42～44
教育課題研修希望調査 (様式2)	45
研修計画書 (様式3)	46～47
研修報告書 (様式4)	48～49
研修報告調書 (様式5)	50～52
8 高等学校中堅教諭等資質向上研修の実施に係る非常時の対応について	53

# 高等学校中堅教諭等資質向上研修 実施要項

兵庫県教育委員会

## 1 目的

中堅教諭等資質向上研修は、県立高等学校の教諭及び講師（任用の期限を附さない常勤講師）（以下、「教諭等」という）に対して、教育公務員特例法第 24 条の規定に基づく研修を実施するもので、個々の能力、適性、役割等に応じて、中堅教諭等としての職務を遂行する上で必要とされる資質の向上を図ることを目的とする。

## 2 主催

兵庫県教育委員会

## 3 対象者

- (1) 在職期間（国立・公立・私立の教諭等として在職した期間も含む）が10年に達した県立高等学校の教諭等
- (2) 該当年度に中堅教諭等資質向上研修（旧10年経験者研修）を実施できなかった者

## 4 研修期間及び研修日数

- (1) 原則として、在職期間が10年に達した日から1年以内に中堅教諭等資質向上研修を開始することとする。
- (2) 実施期間は、原則として当該年度の4月1日から3月31日までの1年間とする。
- (3) 研修日数は、「校外研修」を10日程度、県立総合教育センター等において実施し、「校内研修」を20日程度、「校外研修」において修得した知識や経験を基に、原則として校内において実施する。

## 5 研修内容

兵庫県教員資質向上指標に基づき、次のとおりとする。

- (1) 校外研修
  - a 共通研修  
協働性・同僚性、組織的対応力、自己管理能力・変革力等に関する研修
  - b 教科指導研修  
授業実践力、授業改善力、組織的・体系的な学力向上、ICT活用指導力向上等に関する研修
  - c 教育課題研修  
生徒指導、人権教育、情報教育等、教育上の諸課題に関する選択研修
- (2) 校内研修  
実践を通して行う、教科指導力、生徒指導力等、職務に応じた専門性の向上に関する研修

## 6 評価及び研修計画書の作成等

- (1) 校長は、研修の実施に当たり、事前（前年度又は1学期）に、当該の教諭等の研修希望等を参考として、教諭等ごとの評価案・研修計画書案を作成し、県教育委員

会に提出する。なお、研修計画書案の作成に当たっては、教頭等の意見も参考にするとともに、当該教諭等の意見を聴取するなど、研修が効果的なものとなるよう配慮する。

- (2) 県教育委員会は、校長より提出された評価案・研修計画書案について、必要な調整を行い、決定する。

## 7 研修実施報告書等

校長は、研修終了後に、その成果を評価し、研修実施報告書を作成して県教育委員会に報告するとともに、事後の指導や研修に活用する。

## 8 校内指導体制

- (1) 校長は、当該教諭等の研修実施に当たり、教頭等とも連携しながら必要な指導・助言に当たるものとする。
- (2) 校長は、当該教諭等が研修を実施するに当たり、授業等の校務に支障がないよう、また、学校全体として協同的な体制を確立するよう努めるものとする。

### 附 則

この要項は、平成29年4月1日から施行する。

### 附 則

この要項は、平成30年4月1日から施行する。

### 附 則

この要項は、令和3年4月1日から施行する。

### 附 則

この要項は、令和6年4月1日から施行する。

## 高等学校中堅教諭等資質向上研修 実施細則

### 1 受講者決定の手順

- (1) 各県立高等学校長は、受講対象者調査票を取りまとめ、報告する。  
なお、該当者がいない場合は、「該当者なし」として、報告する。
- (2) 県立総合教育センター長は、上記報告をもとに調整の上、受講対象者及び受講場所・日時について決定し、関係高等学校長あて通知する。

### 2 受講の猶予

- (1) 当該年度に、産前・産後の特別休暇、育児休業、長期出張、長期療養、休職等の者については、次年度以降の受講対象者とすることができる。
- (2) 校長は、学校運営上、受講の猶予が必要であると認める場合、県立総合教育センター長と協議することとする。
- (3) 上記(1)(2)の該当者については、校長が、受講対象者調査票の備考欄に休暇、長期出張等の内容・期間及び本年度の受講の可否について所見を記入する。

### 3 受講できない場合の取り扱い

- (1) 校務等の都合により所定の研修を受講できない場合は、校長が県立総合教育センター長あてに報告する。その後、別の研修への変更等の対応について、県立総合教育センター長が決定する。  
なお、休暇、長期出張等により、本研修を受講できない場合は、原則として次年度の研修を受講する。
- (2) 所定の研修をやむを得ず欠席、遅刻、早退する場合は、事前に管理職から高校教育研修課に電話連絡する。

### 4 旅費等について

- (1) 中堅教諭等資質向上研修の参加は、原則として日々帰校とする。
- (2) 中堅教諭等資質向上研修への参加旅費は別途令達するものとする。

### 5 オンライン研修について

校外研修を勤務場所においてオンラインで行うに当たり、校長は、「高等学校中堅教諭等資質向上研修実施要項」第8項の趣旨を踏まえて、高等学校中堅教諭等資質向上研修対象者の受講環境に配慮するものとする。

### 6 その他

- (1) この実施細則に定めるものの他、必要な事項については県立総合教育センター長が別途定める。
- (2) この実施細則に定める事項は、令和6年4月1日から施行する。

# 令和8年度 兵庫県教職員研修計画

<b>基本方針</b>	<p>グローバル化をはじめICTやAI等の技術革新等、社会情勢の激しい変化が続く中、子どもたち一人一人が自ら「在りたい自分」や「在りたい社会」を描き、新たな価値を創造する力を身に付けていけるよう、「兵庫が育むこころ豊かで自立する人づくり」の基本理念のもと、「『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力」の育成に取り組んでいく。</p>
<b>種別</b>	<p>(経験年数) 1 2 3 5 10 15 20 25 30 35 (年目)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>第1期</b> (採用～5年目) 実践的な指導力を伸ばす。         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>第2期</b> (6年目～20年目) 職務に応じて専門性を伸ばす。         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>第3期</b> (21年目以降) より高い力を身に付け後進の育成に生かす。         </div> </div>
<b>I</b>	<p style="text-align: center;">(年次研修)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">A 初任者研修</p> <p style="text-align: center;">B 2年次研修</p> <p style="text-align: center;">C 3年次研修</p> <p style="text-align: center;">D 5年次相当研修</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">E 中堅教諭等資質向上研修</p> <p style="text-align: center;">F 15年次相当研修</p> <p style="text-align: center;">G 20年次研修</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p style="text-align: right;">H 新任校長研修</p> <p style="text-align: right;">I 校長研修</p> <p style="text-align: right;">J ニュージーランド研修(新任教頭対象)</p> <p style="text-align: right;">K 教頭研修</p> <p style="text-align: right;">L 主幹教諭研修</p> <p style="text-align: right;">M 養護教諭研修</p> <p style="text-align: right;">N 栄養教諭研修</p> <p style="text-align: right;">O 事務職員研修</p> </div> <p style="font-size: small;">経験年数や職務に応じて、必要な資質・能力の向上を図る。</p>
<b>II</b>	<p style="text-align: center;">(担当者等研修)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○キャリア教育担当研修    ○道徳教育研修    ○特別支援教育担当研修</p> <p>○人権教育担当研修    ○生徒指導担当研修    ○英語指導力向上研修</p> <p>○防災教育研修    ○カウンリング'マインド'研修    ○教務担当研修</p> <p>○保健担当研修    ○不登校担当研修    ○情報教育研修</p> <p>○新任特別支援学級担当研修    ○通級指導担当研修</p> <p>○特別支援教育ITコーディネーター研修    ○特別支援教育コーディネーター研修</p> <p>※高校生の政治的教養を高める等の目的別研修や、学科に関する研修、スマートワークス～わたしを生かす働き方～研修等、本庁各課主催の研修を含む</p> </div> <p style="font-size: small;">担当者対象の研修等を行い、各学校の課題対応力の向上を図る。</p>
<b>III</b>	<p style="text-align: center;">(選択研修)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">A 危機管理に関する研修</p> <p style="text-align: center;">B 学校組織マネジメントに関する研修</p> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">C 教科指導に関する研修</p> <p style="text-align: center;">D 生徒指導・心の教育に関する研修</p> <p style="text-align: center;">E 課題教育に関する研修</p> <p style="text-align: center;">F 教育の情報化に関する研修</p> <p style="text-align: center;">G 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応に関する研修</p> </div> <p style="font-size: small;">教科、領域等の指導に必要な資質・能力の向上を図る。</p>
<b>IV</b>	<p style="text-align: center;">(その他の研修)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">A 市町組合教委研修会(市町組合教育委員会・教育研究所が開催する、地域課題・教科研修会等)</p> <p style="text-align: center;">B 校内研修(学校が開催する授業研究会・講習会、OJT等)</p> <p style="text-align: center;">C 自主研修(教科研究会等が開催する研修会、大学・教育機関が開催する研修会等)</p> <p style="text-align: center;">D サポート研修 講師派遣型(講師の派遣による校内研修・自主研修等への支援) オンライン型(動画コンテンツ等の配信による校内研修・自主研修等への支援)</p> <p style="text-align: center;">E ICT活用指導力ステップアッププログラム</p> <p style="text-align: center;">F 臨時的任用教員研修</p> </div> <p style="font-size: small;">学校や個々の教職員の課題に応じて、資質・能力の向上を図る。</p>
<b>配慮事項</b>	<p>○すべての研修機会を通して、授業や校務における教職員のICT活用力(生成AIを含む)の向上を図る。</p> <p>○学校管理職は、教職員の研修ニーズや学校での役割、研修等に関する記録を踏まえ、研修の受講奨励等、資質向上に関する指導助言を行う。</p> <p>○各学校において教職員の実践的指導力を育てるため、効果的な校内研修を実施し、OJTの充実を図る。</p> <p>○学校が抱える様々な課題解決に向けて、学校の意思決定過程への女性教職員の参画や管理職の育成を図るための研修の充実及び参加に向けた工夫に取り組む。</p> <p>○教職員としての高い倫理観の保持と児童生徒・保護者の一層の信頼確保に向け、不祥事防止に関する研修の充実を図る。</p> <p>○小中学校教職員等の研修については、県教委と市町組合教委が連携し、地域の教育課題を踏まえた研修を実施する。</p>

# 兵庫県教員資質向上指標

分野	資質	教員としての資質の向上に関する指標	教	養	主	キャリアステージ														
						養			主			養								
						第1期	第2期	第3期	第1期	第2期	第3期	第1期	第2期	第3期						
<p>グローバル化をはじめICTやAI等の技術革新等、社会情勢の激しい変化が続く中、子どもたち一人一人が自ら「在りたい自分」や「在りたい社会」を描き、新たな価値を創造する力を身に付けていけるよう、「兵庫が育む ころ豊かで自立する人づくり」の基本理念のもと、「『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力」の育成に取り組んでいく。</p> <p>○教育に対する情熱・使命感をもち、児童生徒に愛情をもって接することができる。</p> <p>○教養、社会性、コミュニケーション力、想像力等の総合的な人間性を備えている。</p> <p>○高い倫理観と規範意識をもち、自らの人権感覚を高めることができる。</p> <p>○児童生徒、保護者や地域の方々と公正・公平な立場で対応することができる。</p> <p>○常に学び続ける姿勢をもち、新たな課題へ挑戦することができる。</p>																				
教育課程への取組	兵庫の教育課題への対応	1 地域の人的・物的資源を活用し、発達段階に応じて兵庫型「体験教育」を実践することができる。	○	○	○		☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷					
		2 国際社会で活躍する意欲や態度を育成するなど、グローバル化に対応した教育を実践することができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○	○	○	▷	▷	▷					
		3 伝統や文化を尊重し、ふるさと兵庫を愛する態度を養うことができる。	○	○	○		☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷					
		4 「参画と協働が拓く兵庫の未来」等の指導事例集や副教材を活用し、児童生徒の政治的教養を高め、主体的に社会の形成に参画し協働しようとする態度を養うことができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○	○	▷	▷▷	▷▷▷	▷▷▷					
		5 阪神・淡路大震災の記憶が風化することを防ぐとともに、その経験と教訓を活かし、主体的に判断して実践する力、助け合いやボランティア精神等共生の心を育む「兵庫の防災教育」を推進することができる。	○	○	○		☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷					
		6 幼小中高大の新たな接続・連携に伴う変化に対応し、さらなる充実をめざした取組を行うことができる。	○	○	○		☆	☆	☆	○	○	▷	▷▷	▷▷▷	▷▷▷					
		7 部活動の実施に当たっては、安全に配慮しながら生徒の自主性、協調性、責任感、連帯感などを育てることができる。 【中・高】	○	○	○		☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷					
	生徒を特別必要と配慮するや児童生徒	8 教科書及び「兵庫版道徳教育副読本」等を用いて、他者や自己との「対話」により、自己の生き方や人間としての生き方についてさらに考えを深める道徳の授業を実践できる。 【小・中】	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○	○	▷	▷▷	▷▷▷	▷▷▷					
		9 豊かなスポーツライフを継続する資質、能力の育成をめざし、児童生徒が主体的に体力・運動能力向上を図る態度を育てることができる。 【小・中高(保体)】	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷					
		10 インクルーシブ教育システムの理念を理解し、すべての児童生徒等に分かりやすいユニバーサルな授業づくりや互いに認め合う集団づくりができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○	○	▷	▷▷	▷▷▷	▷▷▷					
		11 特別支援学級や通級による指導、日本語指導など特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷					
		12 保護者や関係機関と連携を図りながら、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、児童生徒等の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うことができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○	▷	▷▷	▷▷▷	▷▷▷						
		ICTや情報活用・教育	13 Society5.0時代を生き抜く児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力を育成するための指導を行うことができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷				
			14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷				
			15 各校の情報セキュリティ実施手順等に基づき、校内の情報を適切に管理し、取り扱うことができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷				
		学習指導	16 学習履歴等のデータを活用し、児童生徒の学習の改善を図ることができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷				
授業改善実践力・探究力	17 学校教育目標や児童生徒の実態を踏まえた年間指導計画を作成し、計画的に授業を進めることができる。		○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷					
	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。		○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷					
	19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。		○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷					
	20 評価規準に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷						
学級・HR経営、生徒指導	21 児童生徒や地域の実態に応じた教材を開発するなど、効果的な教科カリキュラムを編成することができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷						
	22 全国学力・学習状況調査結果等自校の課題を分析し、組織的・体系的な学力向上の取組ができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷						
	一人一人の能力を高める	23 自他の生命を尊重し、多様性を認め、様々な人権課題を解決しようとする実践的な行動力を育成することができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷					
		24 体験活動や実践活動を通して、児童生徒の道徳性の育成に努めている。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷					
		25 インターネット上の人権侵害及びいじめ、不登校等の各教育課題の緊急性や重要性を理解し、他の教職員や関係機関と連携しながらその予防・解決に取り組むことができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○	○	▷	▷▷	▷▷▷						
		26 学校教育目標の実現に向け、学級経営やホームルーム計画の立案・実行・改善ができ、児童生徒が安心して過ごせる学級づくりに取り組むことができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷					
27 児童生徒との適切な距離を保ちながら、生活背景や内面の理解に努め、カウンセリングマインドをもって、児童生徒と接することができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷							
28 社会的・職業的自立の基盤となる能力や態度の育成等を通して、児童生徒のキャリア発達を促すことができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○	▷	▷▷	▷▷▷	▷▷▷								
チームで職務を担う体制づくり	29 児童生徒が自らのよさや可能性を認識し、多様な他者と協働する力を身に付けられるよう指導することができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○	▷	▷▷	▷▷▷	▷▷▷							
	30 児童生徒の健康課題を的確に捉え、それを解決するための保健教育や保健指導ができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷						
	31 偏食傾向や肥満傾向、食物アレルギー等の健康課題を抱える児童生徒に対し、個別の相談指導ができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○	▷	▷▷	▷▷▷	▷▷▷							
	協働性・同僚性	32 「業務量管理・健康確保措置実施計画」に基づき、児童生徒と向き合う時間の確保と、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、計画的に仕事を進めることができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○	○	▷	▷▷	▷▷▷						
		33 児童生徒への指導等に関して、同僚・先輩や管理職等に相談し、指導に生かすことができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷					
		34 豊富な知識や経験を基に、若手教員に対し個性や特性に応じて支援するとともに、同僚と協働して学校の課題に取り組むことができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷					
		35 課題解決に向け、校内の共通理解を図り、家庭・地域・関係機関等と連携して取り組むことができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○	▷	▷▷	▷▷▷	▷▷▷						
	組織的対応力	36 学校教育目標の達成に向け、主体的、積極的に学校運営に参画することができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○	▷	▷▷	▷▷▷	▷▷▷						
		37 校内における自分の役割を認識し、校務分掌を的確かつ効率的に遂行できる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷					
38 家庭や地域社会と連携し、開かれた学校づくりに努めている。		○	○	○	◇	☆	☆	☆	○	▷	▷▷	▷▷▷	▷▷▷							
39 学校の危機管理マニュアルを理解し、事件や事故、トラブルに適切に対応することができる。		○	○	○	◇	☆	☆	☆	○	▷	▷▷	▷▷▷	▷▷▷							
40 学校教育目標や学校保健目標の具現化を図るため、学校医、関係機関等と連携した保健室経営ができる。		○	○	○	◇	☆	☆	☆	○	▷	▷▷	▷▷▷	▷▷▷							
41 栄養管理や衛生管理等の学校給食の管理と、食に関する指導との一体的な展開を行うことができる。		○	○	○	◇	☆	☆	☆	○	▷	▷▷	▷▷▷	▷▷▷							
自律性を高める	42 日頃から、ストレスマネジメントに努めるとともに、教員として自覚ある行動をとることができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷						
	43 適切な言動を心がけ、児童生徒や保護者等からの信頼確保に努めている。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷						
	44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷						
	45 日々の実践等を振り返り、主体的に自らの教育活動の工夫・改善に努めている。	○	○	○	◇	☆	☆	☆	○			▷	▷▷	▷▷▷						

※1 教諭・養護教諭・栄養教諭の○は、関係する職種である。  
 ※2 主幹教諭の◎は、主幹教諭に、より求められる指標である。  
 ※3 養成段階の◇は、大学等で身に付けておきたい基礎的、基本的な知識や技能の指標である。  
 ※4 求められる資質の☆は、その時期に求められる資質である。  
 ※5 重点的に研修に取り組む時期の○は、その資質を身に付けるために重点的に研修を行う時期である。  
 ※6 【 】は、対象とする学級・特別支援学校の学部や教科である。

▷ 年次研修・職務研修、担当者研修  
 ▷▷ 選択研修  
 ▷▷▷ 校内研修・OJT等

# 高等学校中堅教諭等資質向上研修

－ 全体図 －

## 校外研修 (10日)

**共通研修(3日)** 全員が受講する。 ※うち1日分は勤務場所におけるオンライン研修

### 県立総合教育センター

- ・高等学校教育の現状と課題 ・教員の学びのサイクル ・教育公務員の職務 ・教員としての自己管理
- ・多様な生徒の自立と社会参加をめざすキャリア教育 ・学校におけるこれからの役割 等

**教科指導研修(4日)** 教科別に全員が指定された研修を受講する。

### 県立総合教育センター 他

- ・授業研究・授業改善の視点 ・主体的・対話的で深い学びの実現 ・ICTの効果的活用
- ・教科の専門性向上及び重点課題 等
- ・主体的・対話的で深い学びの充実 ・教科の専門性向上及び重点課題への取組 等

## 教育課題研修(3日)

各自の能力・適性や勤務校での役割等に応じて、職務を遂行する上で必要とする資質・能力を高めるための研修を選択して受講する。

※うち1日は県立総合教育センターにおける研修、2日は県内の大学・教育施設における研修

### 県立総合教育センター、県内の大学・教育施設 他

- ・生徒指導  
教育相談、生徒理解、学級経営、いじめ・不登校問題への対応、心の危機対応、ストレスマネジメント 等
- ・特別支援教育 ・人権教育 ・防災教育 ・キャリア教育 ・教育の情報化 ・グローバル教育
- ・リーダーシップ ・総合的な探究の時間 ・学校組織マネジメント 等

## 校内研修 (20日)

校外研修において修得した知識や経験を基に、原則として校内において主体的に計画・実施する。

	研修項目	日数
1	教科指導 実地研修Ⅰ－教科指導研修(校外研修)での学びを生かした授業研究－ (例) 公開授業と授業研究会の準備・実施	5～7日
2	教科指導 実地研修Ⅱ－各自が設定したテーマの実現に向けた授業改善－ (例) 主体的・対話的で深い学び、ICTの効果的活用、評価方法の改善、探究的な学習 等	5～7日
3	生徒指導 実地研修－生徒指導上の課題への組織的対応－ (例) いじめ・不登校の予防や対応、多様な生徒への対応等の研究・取組	2～5日
4	職務に応じた専門性向上研修－校務分掌に関連する能力の向上、課題解決－ (例) 避難訓練の企画・運営、校内研修会の企画・運営等の取組 ※教科指導を除く	2～5日

※1～4については、研修項目に該当する県立総合教育センターの選択研修の受講をあててもよい。

ただし、中堅教諭等資質向上研修の校外研修(教科指導研修、教育課題研修)として受講する講座は除く。

※1については、教科指導に関する研究会(高等学校教育研究会研究発表大会等)等への参加をあててもよい。

※2～4については、NITS(独立行政法人教職員支援機構)の校内研修シリーズ(動画)の視聴をあててもよい。

※4については、県教育委員会が実施する職務研修(担当者研修)への出席をあててもよい。

－ 1年間の流れ－

日程	校内研修	校外研修	提出書類等
3月			3月26日(木) 受講対象者調査票送付
4月		4月16日(木)～4月24日(金) 共通研修第2回①<VOD研修>	4月7日(火) 受講対象者調査票 提出締切
		4月27日(月) 共通研修第1回<集合研修>	4月15日(水) 受講対象者決定通知送付
		4月30日(木)～5月15日(金) 共通研修第2回②<VOD研修>	4月15日(水) (様式1) 研修計画調書 高等学校中堅教諭等資質向上研修冊子 を総合教育センターWeb サイト掲載 4月24日(金) (様式1) 提出締切
5月			5月19日(火) 予定 (様式2) 教育課題研修希望調査 (様式3) 研修計画書 (様式4) 研修報告書 (様式5) 研修報告調書 を総合教育センターWeb サイト掲載
		5月19日(火)～5月29日(金) 共通研修第2回③<VOD研修>	5月25日(月) (様式2) 提出締切
6月	校内研修 実施(20日)	6月9日(火)～6月19日(金) 共通研修第2回④<VOD研修>	6月8日(月) 予定 教育課題研修第1回、第2回 決定通知 ※教職員研修管理システムにて通知
			6月19日(金) (様式3) 提出締切
7月		7月2日(木)または7月3日(金) 教科指導研修第1回	7月3日(金) 課題提出締切 共通研修第2回②～④<VOD研修>
8月		8月5日(水)または8月6日(木) 教科指導研修第2回	
9月		9月14日(月) 共通研修第3回<集合研修>	
10月		10月5日(月)または10月6日(火) 教科指導研修第3回	
11月		11月2日(月)または11月4日(水) 教科指導研修第4回	
12月			
1月			
2月			2月24日(水) (様式4) (様式5) 提出締切

**教育課題研修 (計3日)**

教育課題研修第1回  
月 日( )

教育課題研修第2回  
月 日( )

※県内の大学・教育施設・総合教育センターいづれかでの研修(本冊子p9)を2日

教育課題研修第3回  
月 日( )

※総合教育センターが実施する選択研修(本冊子p10、p11)を1日

『令和8年度 教職員研修のしおり』のp25～p26を参照し、教育課題研修3(1日分)の選択研修(◎が付いた講座)の受講申込を各自で行ってください。

教科指導研修第1回～第4回については、各教科で実施日程、実施場所等が異なります。また、教科指導研修として選択研修の受講が必要な教科があります。各教科の実施日程等は、本冊子p13～p28を確認してください。

選択研修を受講する教科の受講者は、『令和8年度 教職員研修のしおり』p80～p81を参照し、各自で受講申込を行ってください。

－ 令和8年度 校外研修 講座一覧 －

1 共通研修 (3日)

回	期 日	研 修 内 容	研修形態	実施場所	指標番号			
第1回	4/27 (月)	講義：教員の学びのサイクル①	集合	県立総合教育センター	37, 44, 45			
		演習・協議：各自の能力・適性等の評価と研修課題の設定			34, 35, 37, 44, 45			
		講義・演習：多様な生徒の自立と社会参加をめざすキャリア教育 (特別支援教育の視点から学ぶ)			6, 10, 11, 12, 19			
第2回	4/16(木) ～ 4/24(金)	オリエンテーション：中堅教諭等資質向上研修の目的、受講に関する諸注意等	オンライン (VOD)	勤務場所	—			
	4/30(木) ～ 5/15(金)	講義：高等学校教育の現状と課題			2, 13, 16, 25, 38			
	5/19(火) ～ 5/29(金)	講義：教育公務員の職務			32, 34, 36, 38, 43			
	6/9(火) ～ 6/19(金)	講義・演習：教員としての自己管理 (アンガーマネジメントの理論と実践)			27, 34, 37, 42, 43			
	第3回	9/14 (月)			演習・協議：学校におけるこれからの役割 (ミドルリーダーとして活躍するために)	集合	県立総合教育センター	34, 35, 36, 37
					演習・協議：研修の評価とキャリアプラン			34, 35, 37, 44, 45
講 義：教員の学びのサイクル②			37, 44, 45					

2 教科指導研修 (4日) ※各教科の詳細については、本冊子 p13～p28 を参照

	教科指導研修 1	教科指導研修 2	教科指導研修 3	教科指導研修 4
国語・地公 数学・理科 英語	7/2(木)または 7/3(金)	8/5(水)または 8/6(木)	10/5(月)または 10/6(火)	11/2(月)または 11/4(水)
保健体育	7/3(金)	8/5(水)	10/6(火)	11/4(水)
音楽	7/3(金)	8/6(木)	10/29(木) 芸術科(音楽)教育講座	教育の情報化
美術	7/3(金)	8/6(木)	8/19(水) 芸術科(美術)教育講座	教育の情報化
書道	7/3(金)	8/6(木)	8/20(木) 芸術科(書道)教育講座	教育の情報化
家庭	7/2(木)	8/5(水)	9/18(金) 家庭科教育講座	教育の情報化
情報	7/3(金)	8/6(木) 情報科教育講座A	10/6(火)	11/4(水)
農業・水産	7/3(金)	8/3(月) 農業科・水産科教育講座B	10/6(火)	10/14(水) 農業科・水産科教育講座A
工業	7/2(木)	8/5(水)	10/26(月) 工業科教育講座A	12月予定 工業科教育講座B
商業	7/2(木)	8/5(水)	9月中旬 商業科教育講座A	10月下旬 商業科教育講座B
看護	7/3(金)	8/6(木)	10/13(火) 看護科教育講座	教育の情報化
福祉	7/3(金)	8/6(木)	10/19(月) 福祉科教育講座	教育の情報化
備考	<p>※ 各教科の網掛けの「教育講座」、及び「教育の情報化」は、教職員研修管理システムより受講申込が必要です。「教職員研修のしおり」 p80～p81 を参照し、各自で申込みを行ってください。</p> <p>※ 音楽・美術・書道・家庭・看護・福祉の「教育の情報化」選択研修講座について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が主体となる情報モラルの授業づくり</li> <li>・情報と上手向き合うために</li> <li>・Office365 を活用した授業づくり</li> <li>・生成AI で広がる授業の可能性</li> <li>・学校全体で取り組む情報セキュリティ</li> <li>・Google Workspace を活用した授業づくり</li> <li>・教育用クラウドを活用した探究的な学びを考える</li> </ul> <p style="text-align: right;">のいずれか1つの講座を選択</p>			

### 3 教育課題研修（選択3日）

人数制限があるため、番号111～173については（様式2）にて希望調査を実施します。

(1) 大学・県内教育機関で実施される研修（111～173の中から2つ選択）

番号	期 日	実施場所	研 修 内 容	分 野	指標番号
111	8/27 (木)	神戸女子大学	「新時代の生徒指導パラダイム転換」 「困難課題と新たな学校づくり」 「一人一人のよさと可能性」	生徒指導	25, 26 39, 45
112	8/28 (金)	神戸女子大学	「誰一人取り残されない学びのために」 「生徒指導と危機対応」 「教育課程と生徒指導」	生徒指導	6, 10, 11 12, 27, 29
121	8/3 (月)	神戸親和大学 (県立総合教育センター)	「生徒指導と教育相談」 「重篤な事案にならないための対応力とは」	生徒指導	25, 26 27, 43
122	8/4 (火)	神戸親和大学 (県立総合教育センター)	「生徒理解に基づく生徒指導の在り方」 「様々な生徒指導案件と対応事例」	生徒指導	25, 26, 27 39, 43
131	8/3(月) ～ 8/31(月)	武庫川女子大学 (勤務場所VOD)	「学校文化・生徒文化論から生徒指導を考えるーイギリスとの対比を軸に」 「生徒指導と授業づくり…3つのテーマに即して」 ※オンライン(VOD)勤務場所にて実施	生徒指導	12, 26 27, 28
132	8/3(月) ～ 8/31(月)	武庫川女子大学 (勤務場所VOD)	「多様性と自己理解」 「神経発達症の理解と支援のブレークスルーを目指して」 ※オンライン(VOD)勤務場所にて実施	生徒指導	28
141	8/24 (月)	関西学院 大学	「よい子”へのまなざしと教育相談」 「子どもの現在と生徒指導」 「グループワーク」	生徒指導	25, 26 27, 43
142	8/25 (火)	関西学院 大学	「学級経営と生徒指導」 「生徒指導とコミュニケーションーこころを心でー」 「グループワーク」	生徒指導	25, 26 27, 43
151	7/31 (金)	兵庫教育 大学	「ポジティブ心理学から考える発達支持的生徒指導ー強み、キャリア、ウェルビーイングー」	生徒指導	10, 11
152	8/4 (火)	兵庫教育 大学	「教師のためのストレスマネジメント」	生徒指導	42
153	8/7 (金)	兵庫教育 大学	「教育実践の振り返り」 「教師の学びのサイクル」の確立に向けて	教師の学びの サイクル	44, 45
161	8/24 (月)	甲南大学	「不登校の現状と具体的な対応について」 「脳科学の知見からの生徒理解と生徒指導」 「いじめを防止するための社会心理学」	生徒指導	23, 25
162	8/25 (火)	甲南大学	「学校におけるいじめ」 「教育相談としての7分面談について」 「通常学級での発達支援、その理解と対応」	生徒指導	23, 25, 43
171	8/4 (火)、 8/18 (火)	県立 神出学園	「神出学園の不登校支援」 「不登校の子どもたちへの理解と支援」 「グループワーク」	生徒指導・ カウンセリング	6, 10, 11 12, 27
172	8/25 (火)	JICA 関西	「JICAの開発教育支援事業の活用」 「JICA海外協力隊体験談」 「地球市民(グローバル・シティズン)を育む教育とは」等	グローバル 教育	2
173	10/22 (木)	県立但馬 やまびこの郷 (ウイズあかし)	「医療の視点から不登校児童生徒の支援について」等	生徒指導・ 不登校	6, 25, 26 27, 29

## (2) 県立総合教育センターで実施される研修（以下の中から1つ選択）

	期 日	実施場所	【講座番号】 講座名	分 野	指標番号
	7/7 (火)	県立総合教育 センター	【III A1101】 学校事故等への適切な対応と安全指導 －学校における危機管理講座－	危機管理	37, 39, 43
	8/10 (月)	県立総合教育 センター	【III B1303】 課題を発見し解決していくリーダーシップ －学校組織活性化における教員の在り方講座－	リーダー シップ	34, 36, 37
	7/29 (水)	県立総合教育 センター	【III C1323】 課題を発見し解決していくための資質・能力の育成 －（高）生徒の探究的な学びを実現する授業づくり講座－	総合的な 探究の学習	18, 19, 21
	7/2(木) ～ 7/15(水)	勤務場所 (VOD)	【III D1501】 発達支持的生徒指導の考え方と実践の視点 (VOD 研修)	生徒指導	25, 27
	7/22 (水)	県立総合教育 センター	【III D1502】 学級集団を意識したいじめ問題への理解と対応	生徒指導	25, 26
	8/28 (金)	県立総合教育 センター	【III D1503】 発達障害の可能性のある児童生徒といじめ問題	生徒指導	25, 26
	6/22 (月)	県立総合教育 センター	【III D1504】 不登校傾向のある児童生徒への理解と支援	生徒指導	25, 27
	10/1 (木)	県立総合教育 センター	【III D1505】 不登校児童生徒の理解と保護者への支援	生徒指導	25, 27
	8/7 (金)	県立総合教育 センター	【III D1506】 児童生徒への自殺予防教育	心の教育	23, 25
	11/27 (金)	県立総合教育 センター	【III D1507】 学校における被虐待児童生徒への理解と支援	心の教育	25, 35
	7/6 (月)	県立総合教育 センター	【III E1301】 体系的・系統的なキャリア教育の充実に向けて －（高）キャリア教育推進講座－	キャリア 教育	6, 28, 29
	10/28 (水)	県立総合教育 センター	【III E1102】 今日的な人権課題の解決に向けて －人権教育講座－	人権教育	17, 23, 25
	7/8 (水)	県立総合教育 センター	【III E1103】 自らの生命を守るために主体的に行動できる児童生徒の 育成に向けて －震災に学ぶ防災教育講座－	防災教育	5, 39
	11/19 (木)	芸術文化観光 専門職大学	【III E1104】 コミュニケーション能力の育成と学級集団づくり －演劇で学ぶコミュニケーション能力育成講座－	コミュニ ケーション 能力	17, 19, 26
	1/21 (木)	県立総合教育 センター			
	1/21 (木)	県立総合教育 センター	【III F1401】 児童生徒が主体となる情報モラルの授業づくり	教育の 情報化	13, 25, 39
★	6/18 (木)	県立総合教育 センター	【III F1402】 学校全体で取り組む情報セキュリティ －学校情報資産の適切な管理－	教育の 情報化	13, 15, 39
	10/22 (木)	県立総合教育 センター	【III F1403】 情報と上手く向き合うために －児童生徒のメディア・リテラシーの育成をめざす－	教育の 情報化	13, 25, 44
★	9/18 (金)	県立総合教育 センター	【III F1404】 Google Workspace を活用した授業づくり －授業における基本的な使い方－	教育の 情報化	13, 14, 44
★	9/10 (木)	県立総合教育 センター	【III F1405】 Office365 を活用した授業づくり －授業における基本的な使い方－	教育の 情報化	13, 14, 44
★	7/9 (木)	県立総合教育 センター	【III F1406】 教育用クラウドを活用した探究的な学びを考える	教育の 情報化	13, 14, 44
★	12/16 (水)				
★	7/31 (金)	県立総合教育 センター	【III F1407】 教育データを学習・生活指導に繋げる －児童生徒の学習状況・健康情報を手がかりに－	教育の 情報化	14, 16, 25
★	12/4 (金)				
★	9/25 (金)	県立総合教育 センター	【III F1408】 身近なデータを活かす授業づくり	教育の 情報化	13, 14, 44
★	1/29 (金)	県立総合教育 センター	【III F1409】 ICT を活用した学習支援 －実物投影機・大型提示装置等・タブレットの活用－	教育の 情報化	11, 14, 44
★	10/8 (木)	県立総合教育 センター	【III F1410】 3D プリンタを活用したものづくり	教育の 情報化	13, 14, 44
★	10/14 (水)				

	10/30 (金)	県立総合教育 センター	【III F1411】 学校におけるドローンの活用	教育の 情報化	13, 14, 44
	11/5 (木)				
★	11/19 (木)	県立総合教育 センター	【III F1412】 学校におけるVR技術の活用	教育の 情報化	13, 14, 44
★	11/27 (金)				
★	7/7 (火)	県立総合教育 センター	【III F1413】 生成A I で広がる授業の可能性	教育の 情報化	13, 14, 44
★	6/10 (水)	県立総合教育 センター	【III F1414】 校務効率化のための生成A I 活用	教育の 情報化	14, 37, 44
	10/9 (金)	県立総合教育 センター	【III G1201】 障害のある子どもを持つ保護者とつながる支援	特別支援 教育	12, 35, 43
	5/25 (月)	県立総合教育 センター	【III G1202】 発達障害の特性理解と具体的な指導・支援方法	特別支援 教育	11, 12, 35
	7/29 (水)	県立総合教育 センター	【III G1203】 インクルーシブ教育システムの推進に向けた合理的配慮の提供	特別支援 教育	10, 11, 12
	11/6 (金)	県立総合教育 センター	【III G1204】 ICT を活用した障害特性に応じた指導・支援の工夫	特別支援 教育	11, 13, 14
	10/8 (木)	県立総合教育 センター	【III G1205】 特別支援教育の視点をういた問題行動への対応	特別支援 教育	11, 12, 35
	6/29 (月)	県立総合教育 センター	【III G1206】 強度行動障害のある子どもへの理解と支援の実際	特別支援 教育	11, 12, 35
	7/21 (火)	県立総合教育 センター	【III G1207】 特別支援教育の視点を取り入れた音楽の授業づくり	特別支援 教育	10, 18, 19
	11/5 (木)	県立総合教育 センター	【III G1208】 特別支援教育の視点を取り入れた図画工作・美術の授業づくり	特別支援 教育	10, 18, 19
	8/12 (水)	県立総合教育 センター	【III G1209】 すべての児童生徒等に分かりやすいユニバーサルな授業づくり	特別支援 教育	10, 11, 19
	7/7 (火)				
	12/8 (火)				
	9/11 (金)	県立総合教育 センター	【III G1210】 特別支援教育の視点を取り入れた体育の授業づくり	特別支援 教育	10, 18, 19
	9/18 (金)				
	10/19 (月)	県立総合教育 センター	【III G1211】 障害のある子どもへの性に関する指導の在り方を考える	特別支援 教育	11, 23, 35
	7/24 (金)	県立総合教育 センター	【III G1212】 発達障害のある子どもの進路指導	特別支援 教育	12, 28, 35

県立総合教育センターで実施される選択研修は、『令和8年度 教職員研修のしおり』p80～p81を参照し、受講申込を各自で行ってください。

○実施要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約1か月前に掲載予定です。各自でダウンロード等を行ってください。

○芸術科（音楽、美術、書道）、家庭科、看護科、福祉科の受講者は、教科指導研修として網掛けのいずれか1つの講座を受講する必要がありますが、教科指導研修として選択した講座を教育課題研修として二重に選択することはできません。

○★印がある講座は、eラーニングを活用した事前研修が実施されます。詳細は、『令和8年度 教職員研修のしおり』p79を確認してください。

日程表（研修場所：県立総合教育センター）

月日	実施形態	内容	講師	場所
第1回 4/27(月)	集合	開講式	県立総合教育センター 教務部長	講 堂
		講 義 教員の学びのサイクル①	県立総合教育センター 指導主事	
		演習・協議 各自の能力・適性等の評価と研修課題の設定	県立総合教育センター 指導主事	
		講義・演習 多様な生徒の自立と社会参加をめざすキャリア教育 (特別支援教育の視点から学ぶ)	県立総合教育センター 指導主事	

※集合研修の時間については、総合教育センターWebサイトで別途お知らせします。

月日	実施形態	内容	講師	場所
第2回 4/16(木) ～ 4/24(金) 4/30(木) ～ 5/15(金) 5/19(火) ～ 5/29(金) 6/9(火) ～ 6/19(金)	VOD	オリエンテーション 中堅教諭等資質向上研修の目的 受講に関する諸注意等	県立総合教育センター 指導主事	勤務場所
		講 義 高等学校教育の現状と課題	県教育委員会事務局 高校教育課	
		講 義 教育公務員の職務	県教育委員会事務局 教職員人事課	
		講義・演習 教員としての自己管理 (アンガーマネジメントの理論と実践)	県立総合教育センター 指導主事	

※第2回共通研修（オンライン研修（VOD））は、校外研修として取り扱います。

月日	実施形態	内容	講師	場所
第3回 9/14(月)	集合	演習・協議 学校におけるこれからの役割 (ミドルリーダーとして活躍するために)	県立総合教育センター 指導主事	各研修室
		演習・協議 研修の評価とキャリアプラン	県立総合教育センター 指導主事	各研修室
		講 義 教員の学びのサイクル②	県立総合教育センター 指導主事	講 堂
		閉講式	県立総合教育センター 高校教育研修課長	講 堂

※ 携行品など詳細については、各回の10日前までに県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修Webサイトに掲載するので確認すること。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください（第1回、第3回）。食事代金700円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で、食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに管理職を通じて高校教育研修課まで連絡してください。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>国 語</b>
<b>教科指導研修</b>	

#### 4日間の教科研修

ねらい

- (1) 国語科における指導と評価の一体化及び探究的な学習の授業づくりの視点について理解する。
- (2) いま求められている国語科の授業づくりについて理解する。
- (3) 国語科教員としての資質を高めるための取組や自身の在り方について考えを深める。

教科指導 研修	日程	研修内容	
1	7/3 (金)	午前 指導と評価の一体化	午後 授業力向上に向けた探究活動①
2	8/6 (木)	授業力向上に向けた探究活動②	
3	10/6 (火)	授業力向上に向けた探究活動③	
4	11/4 (水)	授業力向上に向けた探究活動④	

※ 7/3（金）の詳細（日程、持参物等）については、県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修 Web サイトに掲載するので確認すること。6月上旬に掲載予定です。

※ 8/6（木）、11/4（水）の持参物

- ・ 8/6（木）：①本年度に自身が作成した定期考査問題のうち大問1題と解答。  
（定期考査を実施していない場合は、それに準ずるもの）  
A4版（様式自由・縮小コピーなどでも可）で作成し、国語科受講者数+1部を印刷し持参する。
- ・ 11/4（水）：国語科教員としての専門性を高めるのに役立つ書籍のリスト。  
（書名・著者・出版社を記したもの）  
A4版（様式自由）で作成し、国語科受講者数+1部を印刷し持参する。

\*その他、詳細は回ごとに案内します。

※ 昼食は必センター内の食堂を利用してください。食事代金 700 円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>地理歴史・公民</b>
<b>教科指導研修</b>	

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 地理歴史科、公民科における指導と評価の一体化及び探究的な学習の授業づくりの視点について理解する。
- (2) いま求められている地理歴史科、公民科の授業づくりについて理解する。
- (3) 地理歴史科、公民科教員としての資質を高めるための取組や自身の在り方について考えを深める。

教科指導 研修	日程	研修内容	
1	7/3 (金)	午前 指導と評価の一体化	午後 授業力向上に向けた探究活動①
2	8/6 (木)	授業力向上に向けた探究活動②	
3	10/6 (火)	授業力向上に向けた探究活動③	
4	11/4 (水)	授業力向上に向けた探究活動④	

※ 7/3（金）の詳細（日程、持参物等）については、県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修 Web サイトに掲載するので確認すること。6月上旬に掲載予定です。

※ 8/6（木）、10/6（火）、11/4（水）の持参物について  
 担当している科目の教科書、参考書、  
 学習指導要領解説（平成30年告示）解説 地理歴史編、公民編  
 可能な限り研修で使用するタブレット端末を持参すること。  
 （詳細については、後日お知らせします。）

※ 昼食は必ず所内の食堂を利用してください。食事代金 700 円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>数 学</b>
<b>教科指導研修</b>	

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 数学科における指導と評価の一体化及び探究的な学習の授業づくりの視点について理解する。
- (2) いま求められている数学科の授業づくりについて理解する。
- (3) 数学教員としての資質を高めるための取組や自身の在り方について考えを深める。

教科指導 研修	日程	研修内容	
1	7/2 (木)	午前 指導と評価の一体化	午後 授業力向上に向けた探究活動①
2	8/5 (水)	授業力向上に向けた探究活動②	
3	10/5 (月)	授業力向上に向けた探究活動③	
4	11/2 (月)	授業力向上に向けた探究活動④	

※ 7/2 (木) の詳細 (日程、持参物等) については、県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修 Web サイトに掲載するので確認すること。6月上旬に掲載予定です。

※ 毎回の持参物

- ・担当している科目の教科書、副教材等
- ・上記以外の持参物については、研修内で別途指示します。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 700 円を受付時に徴収します。特別な事情 (食事療法等) で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日 (土・日・祝を除く)までに高校教育研修課まで申し出てください。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	理 科
教科指導研修	

#### 4日間の教科研修

ねらい

- (1) 理科における指導と評価の一体化及び探究的な学習の授業づくりの視点について理解する。
- (2) いま求められている理科の授業づくりについて理解する。
- (3) 理科教員としての資質を高めるための取組や自身の在り方について考えを深める。

教科指導 研修	日程	研修内容	
1	7/2 (木)	午前 指導と評価の一体化	午後 授業力向上に向けた探究活動①
2	8/5 (水)	授業力向上に向けた探究活動②	
3	10/5 (月)	授業力向上に向けた探究活動③	
4	11/2 (月)	授業力向上に向けた探究活動④	

※ 7/2（木）の詳細（日程、持参物等）については、県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修 Web サイトに掲載するので確認すること。6月上旬に掲載予定です。

※ 8/5（水）、10/5（月）、11/2（月）の持参物

- ・担当している科目の教科書、参考書
- ・高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 理科編 理数編
- ・実験用白衣（10/5のみ）

（詳細については、後日お知らせします。）

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 700 円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>保健体育</b>
<b>教科指導研修</b>	

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 保健体育科における指導と評価の一体化及び「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点について理解する。
- (2) 教科の見方・考え方を踏まえた、効果的な授業研究の手法について理解する。
- (3) 保健体育科の指導における効果的なICTの活用等について理解する。
- (4) 保健体育科におけるカリキュラムマネジメントの視点を理解する。
- (5) 学校における保健安全について理解を深める。

教科指導研修	日程	研修内容	
1	7/3 (金)	午前 指導と評価の一体化 (教科横断)	午後 学習指導要領の趣旨を踏まえた 保健体育授業の現状について
2	8/5 (水)	各学校における保健体育科の現状とカリキュラムマネジメントについて 学校における保健安全の取組について	
3	10/6 (火)	生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する授業実践	
4	11/4 (水)	生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する授業実践 保健体育科中堅教諭等資質向上研修のまとめ	

※ 7/3 (金) の詳細 (日程、持参物等) については、県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修 Web サイトに掲載するので確認すること。6月上旬に掲載予定です。

※ 8/5 (水)、10/6 (火)、11/4 (水) の持参物

- ・筆記用具
- ・「高等学校学習指導要領解説 保健体育・体育編」(平成30年告示)
- ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校保健体育】  
(国立教育政策研究所) ※ネット検索可能
- ・各校の令和8年度保健体育科年間指導計画、USBメモリ
- ・資料作成用のパソコン(officeがインストールされているもの)
- ・運動ができる服装・体育館シューズ (10/6)

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 700 円を受付時に徴収します。特別な事情(食事療法等)で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日(土・日・祝を除く)までに高校教育研修課まで申し出てください。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>芸術（音楽）</b>
<b>教科指導研修</b>	

#### 4日間の教科研修

ねらい

- (1) 芸術科（音楽）における指導と評価の一体化及び「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点について理解する。
- (2) 教科の見方・考え方を踏まえた、効果的な授業研究の手法について理解する。
- (3) 芸術科（音楽）の指導における効果的なICTの活用等について理解する。

教科指導研修	日程	研修内容	
1	7/3 (金)	午前 指導と評価の一体化 (教科横断)	午後 効果的な授業研究の手法
2	8/6 (木)	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点	
3	10/29 (木)	選択研修【ⅢC1309】音楽的な見方・考え方を働かせる授業づくり －（高）芸術科（音楽）教育講座－	
4	選択 研修	教育の情報化（下記参照）	

※ 7/3（金）の詳細（日程、持参物等）については、県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修 Web サイトに掲載するので確認すること。6月上旬に掲載予定です。

※ 網掛けの教科指導研修3は、県立総合教育センターが実施する選択研修です。『令和8年度 教職員研修のしおり』のp80～p81を参照し、各自で受講申込を行ってください。また、実施要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約1か月前に掲載予定です。

※ 網掛けの教科指導研修4の「教育の情報化」は、県立総合教育センターが実施する選択研修から1つ受講してください。（【ⅢF1401】児童生徒が主体となる情報モラルの授業づくり、【ⅢF1402】学校全体で取り組む情報セキュリティ、【ⅢF1403】情報と上手く向き合うために、【ⅢF1404】Google Workspaceを活用した授業づくり、【ⅢF1405】Office365を活用した授業づくり、【ⅢF1406】教育用クラウドを活用した探究的な学びを考える、【ⅢF1413】生成AIで広がる授業の可能性）  
なお、教科指導研修として選択した講座は、教育課題研修として二重に選択することはできません。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金700円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>芸術（美術）</b>
<b>教科指導研修</b>	

#### 4日間の教科研修

ねらい

- (1) 芸術科（美術）における指導と評価の一体化及び「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点について理解する。
- (2) 教科の見方・考え方を踏まえた、効果的な授業研究の手法について理解する。
- (3) 芸術科（美術）の指導における効果的なICTの活用等について理解する。

教科指導研修	日程	研修内容	
1	7/3 (金)	午前 指導と評価の一体化 (教科横断)	午後 効果的な授業研究の手法
2	8/6 (木)	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点	
3	8/19 (水)	選択研修【ⅢC1310】造形的な見方・考え方を働かせる授業づくり －（高）芸術科（美術）教育講座－	
4	選択 研修	教育の情報化（下記参照）	

※ 7/3（金）の詳細（日程、持参物等）については、県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修 Web サイトに掲載するので確認すること。6月上旬に掲載予定です。

※ 網掛けの教科指導研修3は、県立総合教育センターが実施する選択研修です。『令和8年度 教職員研修のしおり』のp80～p81を参照し、各自で受講申込を行ってください。また、実施要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約1か月前に掲載予定です。

※ 網掛けの教科指導研修4の「教育の情報化」は、県立総合教育センターが実施する選択研修から1つ受講してください。（【ⅢF1401】児童生徒が主体となる情報モラルの授業づくり、【ⅢF1402】学校全体で取り組む情報セキュリティ、【ⅢF1403】情報と上手く向き合うために、【ⅢF1404】Google Workspaceを活用した授業づくり、【ⅢF1405】Office365を活用した授業づくり、【ⅢF1406】教育用クラウドを活用した探究的な学びを考える、【ⅢF1413】生成AIで広がる授業の可能性）  
なお、教科指導研修として選択した講座は、教育課題研修として二重に選択することはできません。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金700円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>芸術（書道）</b>
<b>教科指導研修</b>	

#### 4日間の教科研修

ねらい

- (1) 芸術科（書道）における指導と評価の一体化及び「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点について理解する。
- (2) 教科の見方・考え方を踏まえた、効果的な授業研究の手法について理解する。
- (3) 芸術科（書道）の指導における効果的なICTの活用等について理解する。

教科指導研修	日程	研修内容	
1	7/3 (金)	午前 指導と評価の一体化 (教科横断)	午後 効果的な授業研究の手法
2	8/6 (木)	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点	
3	8/20 (木)	選択研修【ⅢC1311】個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業づくり －（高）芸術科（書道）教育講座－	
4	選択研修	教育の情報化（下記参照）	

※ 7/3（金）の詳細（日程、持参物等）については、県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修 Web サイトに掲載するので確認すること。6月上旬に掲載予定です。

※ 網掛けの教科指導研修3は、県立総合教育センターが実施する選択研修です。『令和8年度 教職員研修のしおり』のp80～p81を参照し、各自で受講申込を行ってください。また、実施要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約1か月前に掲載予定です。

※ 網掛けの教科指導研修4の「教育の情報化」は、県立総合教育センターが実施する選択研修から1つ受講してください。（【ⅢF1401】児童生徒が主体となる情報モラルの授業づくり、【ⅢF1402】学校全体で取り組む情報セキュリティ、【ⅢF1403】情報と上手く向き合うために、【ⅢF1404】Google Workspaceを活用した授業づくり、【ⅢF1405】Office365を活用した授業づくり、【ⅢF1406】教育用クラウドを活用した探究的な学びを考える、【ⅢF1413】生成AIで広がる授業の可能性）

なお、教科指導研修として選択した講座は、教育課題研修として二重に選択することはできません。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金700円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>外国語（英語）</b>
<b>教科指導研修</b>	

#### 4日間の教科研修

ねらい

- (1) 外国語科における指導と評価の一体化及び探究的な学習の授業づくりの視点について理解する。
- (2) いま求められている外国語科の授業づくりについて理解する。
- (3) 外国語科教員としての資質を高めるための取組や自身の在り方について考えを深める。

教科指導 研修	日程	研修内容	
1	7/2 (木)	午前 指導と評価の一体化	午後 授業力向上に向けた探究活動①
2	8/5 (水)	午前 思考力・判断力・表現力を測る 定期考査について	午後 授業力向上に向けた探究活動②
3	10/5 (月)	授業力向上に向けた探究活動③	
4	11/2 (月)	授業力向上に向けた探究活動④	

※ 7/2（木）の詳細（日程、持参物等）については、県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修 Web サイトに掲載するので確認すること。6月上旬に掲載予定です。

#### ※ 教科指導研修の持参物

授業で使用している教科書（1冊でよい）

第2回（8/5）：・自身で作成した実施済の定期考査問題のうち、思考力・判断力・表現力を問う問題が含まれている大問1つ分（考査1回分を8部を両面印刷する）とその解答

※考査は、A3の大きさにリサイズしてください。

- ・上記考査で使用した教科書等
- ・勤務校の Can-do リスト

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 700 円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>家 庭</b>
<b>教科指導研修</b>	

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 家庭科における指導と評価の一体化及び「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点について理解する。
- (2) 教科の見方・考え方を踏まえた、効果的な授業研究の手法について理解する。
- (3) 家庭科の指導における効果的なICTの活用等について理解する。

教科指導研修	日程	研修内容	
1	7/2 (木)	午前 指導と評価の一体化 (教科横断)	午後 学びの質を高めるための授業づくり
2	8/5 (水)	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の視点	
3	9/18 (金)	選択研修【ⅢC1312】実践的・体験的な学習活動の創造 － (中高) 家庭科教育講座－	
4	選択 研修	教育の情報化 (下記参照)	

※ 7/2 (木) の詳細 (日程、持参物等) については、県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修 Web サイトに掲載するので確認すること。6月上旬に掲載予定です。

※ 網掛けの教科指導研修3は、県立総合教育センターが実施する選択研修です。『令和8年度 教職員研修のしおり』の p80～p81 を参照し、各自で受講申込を行ってください。また、実施要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約1か月前に掲載予定です。

※ 網掛けの教科指導研修4の「教育の情報化」は、県立総合教育センターが実施する選択研修から1つ受講してください。(【ⅢF1401】児童生徒が主体となる情報モラルの授業づくり、【ⅢF1402】学校全体で取り組む情報セキュリティ、【ⅢF1403】情報と上手く向き合うために、【ⅢF1404】Google Workspace を活用した授業づくり、【ⅢF1405】Office365 を活用した授業づくり、【ⅢF1406】教育用クラウドを活用した探究的な学びを考える、【ⅢF1413】生成AIで広がる授業の可能性)

なお、教科指導研修として選択した講座は、教育課題研修として二重に選択することはできません。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 700 円を受付時に徴収します。特別な事情 (食事療法等) で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日 (土・日・祝を除く) までに高校教育研修課まで申し出てください。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>情 報</b>
<b>教科指導研修</b>	

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 情報科における指導と評価の一体化及び探究的な学習の授業づくりの視点について理解する。
- (2) 情報活用能力を育成するための演習をする上で、必要な知識や技能を習得する。
- (3) これからの情報科教育について理解し、中堅教諭として自らの役割について考える。

教科指導研修	日程	研修内容	
1	7/3 (金)	午前 指導と評価の一体化 (教科横断)	午後 中堅教諭として必要な教科指導力を磨く
2	8/6 (木)	選択研修【ⅢC1313】探究的な学びを充実させる「情報Ⅱ」の授業づくり － (高) 情報科教育講座A－	
3	10/6 (火)	先端技術を活用した授業づくりⅠ (システム開発のためのプログラミング)	
4	11/4 (水)	先端技術を活用した授業づくりⅡ (A I と社会のかかわり、A I の仕組み)	

※ 7/3 (金) の詳細 (日程、持参物等) については、県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修 Web サイトに掲載するので確認すること。6月上旬に掲載予定です。

※ 7/3 (金) の持参物

- ・高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 (情報編)
- ・「情報Ⅰ」教科書

※ 網掛けの選択研修は、『令和8年度 教職員研修のしおり』の p80～p81 を参照し、各自で受講申込を行ってください。また、実施要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約1か月前に掲載予定です。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 700 円を受付時に徴収します。特別な事情 (食事療法等) で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日 (土・日・祝を除く) までに 高校教育研修課まで申し出てください。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>農業・水産</b>
<b>教科指導研修</b>	

#### 4日間の教科研修

ねらい

- (1) 農業科・水産科における指導と評価の一体化及び「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点について理解する。
- (2) 教科の見方・考え方を踏まえた、効果的な授業研究の手法について理解する。
- (3) 農業科・水産科の指導における効果的なICTの活用等について理解する。

教科指導研修	日程	研修内容	
1	7/3 (金)	午前 指導と評価の一体化 (教科横断)	午後 効果的な授業研究の手法
2	8/3 (月)	選択研修【ⅢC1316】技術革新と高度化に対応した学習の充実に向けて － (高) 農業科・水産科教育講座B－	
3	10/6 (火)	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点	
4	10/14 (水)	選択研修【ⅢC1315】農業生産工程管理 (GAP) の考え方に基づく授業づくり － (高) 農業科・水産科教育講座A－	

※ 7/3 (金) の詳細 (日程、持参物等) については、県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修 Web サイトに掲載するので確認すること。6月上旬に掲載予定です。

※ 網掛けの教科指導研修2、4は、県立総合教育センターが実施する選択研修です。『令和8年度 教職員研修のしおり』の p80～p81 を参照し、各自で受講申込を行ってください。また、実施要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約1か月前に掲載予定です。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 700 円を受付時に徴収します。特別な事情 (食事療法等) で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日 (土・日・祝を除く) までに高校教育研修課まで申し出てください。

- (1) 実習における「主体的に取り組む態度」の評価方法について理解する。
- (2) 探究的な学びを実現する課題研究の在り方について理解する。
- (3) 農業教育に求められる安全管理と事故防止に必要な知識・技術について理解する。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>工 業</b>
<b>教科指導研修</b>	

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 工業科における指導と評価の一体化及び探究的な学習の授業づくりの視点について理解する。
- (2) 工業科におけるキャリア教育について理解する。
- (3) 安全教育についてその手法を習得し、実習等で活用する。
- (4) これからの工業教育について理解し、中堅教諭として自らの役割について考える。

教科指導研修	日程	研修内容	
		1	7/2 (木)
2	8/5 (水)	これからの工業教育について	
3	10/26 (月)	選択研修【ⅢC1317】工業教育の充実に向けて － (高) 工業科教育講座A－	
4	12月 予定	選択研修【ⅢC1318】実習の充実に向けて － (高) 工業科教育講座B－	

※ 7/2 (木) の詳細 (日程、持参物等) については、県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修 Web サイトに掲載するので確認すること。6月上旬に掲載予定です。

※ 網掛けの選択研修は、『令和8年度 教職員研修のしおり』の p80～p81 を参照し、各自で受講申込を行ってください。また、実施要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約1か月前に掲載予定です。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 700 円を受付時に徴収します。特別な事情 (食事療法等) で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日 (土・日・祝を除く)までに高校教育研修課まで申し出てください。

※ 教科指導研修4 (12月予定) の日程等詳細については、10/26 (月) の教科指導研修3でお伝えします。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>商 業</b>
<b>教科指導研修</b>	

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 商業科における指導と評価の一体化及び「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点について理解する。
- (2) 教科の見方・考え方を踏まえた、効果的な授業研究の手法について理解する。
- (3) 商業科の指導における効果的なICTの活用等について理解する。

教科指導研修	日程	研修内容	
1	7/2 (木)	午前 指導と評価の一体化 (教科横断)	午後 授業力向上に向けた探究活動①
2	8/5 (水)	授業力向上に向けた探究活動②	
3	9月 中旬	選択研修【ⅢC1319】ひょうごリーダーハイスクールの取組に学ぶ － (高) 商業科教育講座A－	
4	10月 下旬	選択研修【ⅢC1320】特色ある職業教育に学ぶ － (高) 商業科教育講座B－	

※ 7/2 (木) の詳細 (日程、持参物等) については、県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修 Web サイトに掲載するので確認すること。6月上旬に掲載予定です。

※ 網掛けの教科指導研修3、4は、県立総合教育センターが実施する選択研修です。『令和8年度 教職員研修のしおり』の p80 ～p81 を参照し、各自で受講申込を行ってください。また、実施要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約1か月前に掲載予定です。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 700 円を受付時に徴収します。特別な事情 (食事療法等) で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日 (土・日・祝を除く) までに高校教育研修課まで申し出てください。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>看 護</b>
<b>教科指導研修</b>	

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 看護科における指導と評価の一体化及び「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点について理解する。
- (2) 教科の見方・考え方を踏まえた、効果的な授業研究の手法について理解する。
- (3) 看護科の指導における効果的なICTの活用等について理解する。

教科指導研修	日程	研修内容	
1	7/3 (金)	午前 指導と評価の一体化 (教科横断)	午後 効果的な授業研究の手法
2	8/6 (木)	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点	
3	10/13 (火)	選択研修【ⅢC1321】看護科における実践的・体験的な学習活動の充実 － (高) 看護科教育講座－	
4	選択 研修	教育の情報化 (下記参照)	

※ 7/3 (金) の詳細 (日程、持参物等) については、県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修 Web サイトに掲載するので確認すること。6月上旬に掲載予定です。

※ 網掛けの教科指導研修3は、県立総合教育センターが実施する選択研修です。『令和8年度 教職員研修のしおり』の p80～p81 を参照し、各自で受講申込を行ってください。また、実施要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約1か月前に掲載予定です。

※ 網掛けの教科指導研修4の「教育の情報化」は、県立総合教育センターが実施する選択研修から1つ受講してください。(【ⅢF1401】児童生徒が主体となる情報モラルの授業づくり、【ⅢF1402】学校全体で取り組む情報セキュリティ、【ⅢF1403】情報と上手く向き合うために、【ⅢF1404】Google Workspace を活用した授業づくり、【ⅢF1405】Office365 を活用した授業づくり、【ⅢF1406】教育用クラウドを活用した探究的な学びを考える、【ⅢF1413】生成AIで広がる授業の可能性)  
なお、教科指導研修として選択した講座は、教育課題研修として二重に選択することはできません。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 700 円を受付時に徴収します。特別な事情 (食事療法等) で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日 (土・日・祝を除く) までに高校教育研修課まで申し出てください。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	福 祉
教科指導研修	

#### 4 日間の教科研修

ねらい

- (1) 福祉科における指導と評価の一体化及び「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点について理解する。
- (2) 教科の見方・考え方を踏まえた、効果的な授業研究の手法について理解する。
- (3) 福祉科の指導における効果的なICTの活用等について理解する。

教科指導研修	日程	研修内容	
1	7/3 (金)	午前 指導と評価の一体化 (教科横断)	午後 効果的な授業研究の手法
2	8/6 (木)	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点	
3	10/19 (月)	選択研修【ⅢC1322】福祉科における実践的・体験的な学習活動の充実 － (高) 福祉科教育講座－	
4	選択 研修	教育の情報化 (下記参照)	

※ 7/3 (金) の詳細 (日程、持参物等) については、県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修 Web サイトに掲載するので確認すること。6月上旬に掲載予定です。

※ 網掛けの教科指導研修3は、県立総合教育センターが実施する選択研修です。『令和8年度 教職員研修のしおり』の p80～p81 を参照し、各自で受講申込を行ってください。また、実施要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約1か月前に掲載予定です。

※ 網掛けの教科指導研修4の「教育の情報化」は、県立総合教育センターが実施する選択研修から1つ受講してください。(【ⅢF1401】児童生徒が主体となる情報モラルの授業づくり、【ⅢF1402】学校全体で取り組む情報セキュリティ、【ⅢF1403】情報と上手く向き合うために、【ⅢF1404】Google Workspace を活用した授業づくり、【ⅢF1405】Office365 を活用した授業づくり、【ⅢF1406】教育用クラウドを活用した探究的な学びを考える、【ⅢF1413】生成AIで広がる授業の可能性)  
なお、教科指導研修として選択した講座は、教育課題研修として二重に選択することはできません。

※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 700 円を受付時に徴収します。特別な事情 (食事療法等) で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日 (土・日・祝を除く) までに高校教育研修課まで申し出てください。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>神戸女子大学</b>
<b>教育課題研修(生徒指導)</b>	

場所 神戸女子大学 須磨キャンパス（神戸市須磨区東須磨青山2-1）

月日	時間	内 容	講 師
8/27 (木)	10:00	講義「新時代の生徒指導パラダイム転換」 子どもの世界をみつめ、複雑化・困難化する教育課題を整理する。最新事例を取り上げて、授業力・指導力・教師力を問い直し、子どもとの関わり方の落とし穴とあるべき姿をともに考える。	神戸女子大学 特任教授 宮本 晃郎 (教職論・生徒指導論)
	11:30		
	12:30	講義・演習「困難課題と新たな学校づくり」 いじめや暴力行為、指導不服従、不登校、虐待等の具体事例をもとに対応策を協議し、自校の取組を振り返る。子ども第一主義を軸に協働・協創の精神で新たな学校づくりを進める具体策を探りたい。	神戸女子大学 特任教授 宮本 晃郎 (教職論・生徒指導論)
	14:00		
8/28 (金)	14:15	講義・演習「一人一人のよさと可能性」 子どもが輝く瞬間に焦点を当て、一人一人のよさを認められ、可能性を引き出した実践を紹介する。それを踏まえて「心に残る出来事や望ましい指導と経過」などを情報交換する。(事前準備は不要)	神戸女子大学 特任教授 宮本 晃郎 (教職論・生徒指導論)
	10:00	講義・演習「誰一人取り残されない学びのために」 不登校を中心に今日的課題について、小・中・高等学校の現状を把握し、国や県・市等の対応策をもとに課題等を整理することで今後の自校における取組に生かす。	神戸女子大学 特任教授 宮垣 覚 (教職論・教育課程論)
	11:30		
	12:30	講義・演習「生徒指導と危機対応」 生徒の安心安全を確保するため危機管理の視点から、学校現場における具体的事例をもとに、自校において起こりうる危機やその問題点、対応策等を考え、今後に生かす契機とする。	神戸女子大学 特任教授 宮垣 覚 (教職論・教育課程論)
	14:00		
14:15	講義・演習「教育課程と生徒指導」 子ども一人一人の可能性を最大限伸ばしていく教育が求められている中で生徒指導の意味を踏まえ、具体的事例をもとに、教育活動を通して進める生徒指導の在り方を考えるきっかけとする。	神戸女子大学 特任教授 宮垣 覚 (教職論・教育課程論)	
15:45			

※ 実施教室 A館4階409教室 (予定)

※ 受付場所 A館4階409教室前 (予定)

※ 受付開始 9:30

※ 講義終了 15:45

※ 持参物 筆記用具、昼食

※ 交通手段 JR須磨駅、山陽須磨駅から神戸市バス71・72・75系統「高倉台南口」(約15分)で下車、徒歩3分。学内には駐車場がありませんので、公共交通機関を御利用ください。

※ 学内はすべて禁煙です。

※ 特別警報発表等非常時は県立総合教育センターと神戸女子大学の気象警報発表時の取扱により研修を中止する場合があります。研修を中止する場合は、県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修 Web サイトでお知らせします。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>神戸親和大学</b>
<b>教育課題研修(生徒指導)</b>	

場所 県立総合教育センター（加東市山国 2006-107）

月日	時間	内 容	講 師
8/3 (月)	10:00	講義・グループワーク 「生徒指導と教育相談」  (概要) 不登校やいじめなど生徒の行動とその背景にあるものを理解しつつ、育てる生徒指導を行うための相談・助言の在り方について、参加者とともに考える機会としたい。	神戸親和大学 教育学部 教育学科 教授 富田 哲浩
	12:30		
	13:30	講義・グループワーク 「重篤な事案にならないための対応力とは」  (概要) いじめや自死など生徒の生命に関わる事案に対する教員としての対応力の強化と、組織体制や連携の在り方について、想定事例をもとに考える機会としたい。	
8/4 (火)	10:00	講義・グループワーク 「生徒理解に基づく生徒指導の在り方」  (概要) 児童・生徒が自身を肯定的に捉え豊かな人間性をはぐくむことを可能とする様々な要因について参加者とともに考察する機会としたい。	神戸親和大学 文学部 国際文化学科 教授 桂 敦子
	12:30		
	13:30	講義・グループワーク 「様々な生徒指導案件と対応事例」  (概要) 実際に起こり得る生徒指導案件について、午前中の講義等を踏まえながら、その対応を参加者とともに検証する機会としたい。	
	16:00		

- ※ 受付場所 県立総合教育センター
- ※ 受付開始 9:30 【※原則、9:30 より受付を開始します。】
- ※ 講義終了 16:00
- ※ 持参物 筆記用具、名札
- ※ 昼食は必ずセンター内の食堂を利用してください。食事代金 700 円を受付時に徴収します。特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、各研修の前々日（土・日・祝を除く）までに高校教育研修課まで申し出てください。
- ※ 特別警報発表等非常時は県立総合教育センターの取扱規定により研修を中止する場合があります。研修を中止する場合は、県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修 Web サイトでお知らせします。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>武庫川女子大学</b>
<b>教育課題研修(生徒指導)</b>	

実施形態：オンライン（VOD）

月日	時間	内 容	講 師
8/3 (月) から 配信	120分 程度	<p>講義「学校文化・生徒文化論から生徒指導を考えるーイギリスとの対比を軸に」</p> <p>概要</p> <p>本講義では、教育社会学的な観点から生徒指導というものを論じた。時代や国によって、教育のあり方には大きな違いがある。生徒に対していかに接するかという生徒指導の領域においても、同様である。ここでは、集団主義と個人主義という言葉で語られてきた、日本とイギリスの学校文化の違い、そこから生じる生徒文化のありようの差異をベースにして、今日の日本の高校における生徒指導の諸課題について検討を加えたい。</p>	<p>武庫川女子大学</p> <p>教授 志水宏吉</p> <p>(教育社会学、 学校臨床学)</p>
	120分 程度	<p>講義「生徒指導と授業づくり・・・3つのテーマに即して」</p> <p>概要</p> <p>第1テーマ：with コロナ時代における児童・生徒の問題状況ーとくに不登校（長期欠席）といじめ問題に焦点をあてて</p> <p>第2テーマ：児童・生徒どうしの関係性と対話的な学習</p> <p>第3テーマ：目標の立て方とリフレクション</p> <p>生徒指導と授業づくりをつなぐもの（自律的な学習を目指して）</p>	<p>武庫川女子大学</p> <p>教授 森脇 健夫</p> <p>(教育実践学)</p>
8/3 (月) から 配信	120分 程度	<p>講義「多様性と自己理解」</p> <p>概要</p> <p>多様性（ダイバーシティ）が、国や文化を超えて、個人から社会まであらゆるレベルで語られている。生徒指導においても多様性に関する理解は不可欠だが、その基本には教員自身の自己理解が求められる。生徒だけでなく、自分とは異なる境遇で生きる教員仲間への配慮にもつながるよう、本講義では多様性に関する知識の獲得と自己理解を試みる。</p>	<p>武庫川女子大学</p> <p>教授 中尾 賀要子</p> <p>(社会福祉学)</p>
	120分 程度	<p>講義「神経発達症の理解と支援のブレークスルーを目指して」</p> <p>概要</p> <p>神経発達症への認知が広まる中、自閉スペクトラム症は社会コミュニケーションの、注意欠如・多動症は実行機能・報酬系・時間処理の、限局性学習症は情報処理・認知プロセスという脳機能の発達の問題という理解で、医療・療育、特別支援教育や合理的配慮、さまざまな支援、研究が進められている。しかし、近年、感覚や協調（運動）などの身体性が社会性などの基盤となっていることが明らかとなってきた。本講義が今後の神経発達症の理解や支援のありかたを問い直す機会となれば幸いである。</p>	<p>武庫川女子大学</p> <p>教授 中井 昭夫</p> <p>(発達行動小児科学)</p>

※それぞれの講座について、課題があります。動画の配信方法や課題の提出方法については後日お知らせします。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>関西学院大学</b>
<b>教育課題研修(生徒指導)</b>	

場所 関西学院大学（西宮市上ヶ原一番町1-155）

月日	時間	内 容	講 師
8/24 (月)	10:30	講義 「よい子”へのまなざしと教育 相談」	関西学院大学大学院文学研究科准教授 関西学院大学教職教育研究センター准教授  荻田 純久
	11:40		
	12:40	講義 「子どもの現在と生徒指導」	関西学院大学大学院文学研究科教授 関西学院大学教職教育研究センター教授  白銀 夏樹
	13:50		
	14:00	グループワーク まとめ	関西学院大学大学院文学研究科教授 関西学院大学教職教育研究センター教授  白銀 夏樹
8/25 (火)	10:30	講義 「学級経営と生徒指導」	関西学院大学大学院文学研究科教授 関西学院大学教職教育研究センター教授 関西学院大学教職教育研究センター長  久保田 真功
	11:40		
	12:40	講義 「生徒指導とコミュニケーション ーこころを心でー」	関西学院大学大学院文学研究科教授 関西学院大学教職教育研究センター教授  小谷 正登
	13:50		
	14:00	グループワーク まとめ	関西学院大学大学院文学研究科教授 関西学院大学教職教育研究センター教授  小谷 正登
15:45			

※ 受付場所 G-301 講義室前

※ 受付開始 10:00

※ 講義終了 15:45

※ 持参物 筆記具

※ 昼食は各自でご用意ください。食堂等も利用していただけます。

※ 研修会場には駐車場がありませんので、会場へは公共交通機関を利用してください。

※ 特別警報発表等非常時は県立総合教育センターと関西学院大学の取扱規定により研修を中止する場合があります。研修を中止する場合は、県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修 Web サイトでお知らせします。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>兵庫教育大学</b>
<b>教育課題研修(生徒指導)</b>	

場所 兵庫教育大学（〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1）

月日	内 容 (予定)	講 師
7/31 (金)	<p>講義・演習 「ポジティブ心理学から考える発達支持的生徒指導－強み、キャリア、ウェルビーイング－」</p> <p>概要 発達支持的生徒指導は、特定の課題を意識することなく、すべての生徒を対象としてよさや可能性を見つけ伸ばし自己実現の達成を支援する積極的、先行的な取組みである。本講義では、強み（ストレンクス）アプローチに基づいて、生徒の主体的な自己形成を支援する方法のレクチャーと演習を行い、実践のヒントを得ることを目指す。</p>	兵庫教育大学大学院 准教授 森本 哲介
8/4 (火)	<p>講義・演習 「教師のためのストレスマネジメント」</p> <p>概要 リラクセーションを体験ベースに、ストレスと付き合い上手になるためのストレス理解と自身のストレスへの気づきに関するレクチャーと演習を行う。</p>	兵庫教育大学 名誉教授 藤原 忠雄

- ※ 実施教室 兵庫教育大学 総合研究棟 3階 大会議室
- ※ 受付場所 兵庫教育大学 総合研究棟 3階 大会議室
- ※ 受付開始 10:00
- ※ 講義時間 10:30～16:00
- ※ 持参物 筆記具、名札、昼食（大学の食堂も利用できます）

「教師のためのストレスマネジメント」

・当日はリラックスできる服装でお越しください。ハイヒール等は避けて下さい。

- ※ 特別警報発表等非常時は県立総合教育センターと兵庫教育大学の気象警報発表時の取扱により研修を中止する場合があります。研修を中止する場合は、県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修 Web サイトでお知らせします。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>兵庫教育大学</b>
<b>教育課題研修 (教師の学びのサイクル)</b>	

**ねらい**

- (1) 日頃の教育実践から課題を見つけ、その課題に対する新たな考え方や解決策を見出し、再び現場で実践するという「教師の学びのサイクル」を確立する。
- (2) 課題の発見や新たな考え方、解決策の構想に向けて、現代的な教育課題（インクルーシブ教育、多文化共生教育、持続可能な開発のための教育）の視点を学ぶ。

**場所** 兵庫教育大学（〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1）

**日程**

月 日	内 容	実施方法（会場）
8/7 (金) 9:30～ 16:00 (途中昼休 み1時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育実践の振り返り</li> <li>・「教師の学びのサイクル」の確立に向けて 兵庫教育大学 先端教職課程カリキュラム開発センター 准教授 神田 貴司</li> </ul>	対面型の講義・演習 (兵庫教育大学加東キャンパス)

《 受講の申込について 》

- ※ この研修は、兵庫教育大学が研修プログラムとして24名を募集し、実施する研修です。
- ※ 中堅研の割り当て募集定員を超えて申し込みがあった場合は、受講できないこともあります。その場合は、県立総合教育センターより連絡します。

《 講義・演習等について 》

- ※ 受付開始：9:00 講義開始：9:30 講義終了：16:00（昼休憩1時間）
- ※ 実施場所：兵庫教育大学加東キャンパス  
共通講義棟 3F「イノベーション・コモンズ」（実施教室前にて受付）
- ※ 持参物：昼食（食堂の使用可）、飲み物、筆記具
- ※ 大学構内に車で入構できます。入構証と駐車場、構内の地図は後日送付します。
- ※ 特別警報発表等非常時は県立総合教育センターと兵庫教育大学の取扱規定により研修を中止する場合があります。研修を中止する場合は、県立総合教育センター高校教育研修課の中堅教諭等資質向上研修のWebサイトでお知らせします。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>甲南大学</b>
<b>教育課題研修(生徒指導)</b>	

場所 甲南大学 岡本キャンパス (神戸市東灘区岡本 8-9-1)

月日	時間	内容	講師
8/24 (月)	10:00	講義・ワーク 「不登校の現状と具体的な対応について」 不登校の実態とその背景にある要因を知るとともに、事例検討等を通して不登校の早期発見の方法などを理解する。義務教育段階での取組事例を紹介する。	甲南大学 特任教授 八木 眞由美 (教育方法・教育課程・教育行政・教育社会学)
	11:30		
	12:30	講義 「脳科学の知見からの生徒理解と生徒指導」 脳科学の結果から、生徒をどう理解し、どのような生徒指導をすべきかを考える。	甲南大学 教授 定金 浩一 (生徒指導法・特別支援教育・教育相談・教育心理)
	14:00		
	14:15	講義・ワーク 「いじめを防止するための社会心理学」 いじめ発生のメカニズムを学級集団という視点から理解し、社会心理学的にその防止について考える。	甲南大学 教授 大西 彩子 (社会心理学・臨床心理学)
	15:45		
8/25 (火)	10:00	講義・ワーク 「学校におけるいじめ」 さまざまなデータや知見から、学校におけるいじめについての理解を深め、教育社会的にいじめを捉える。	甲南大学 准教授 岡邑 衛 (教育社会学・教師教育・生徒指導・特別活動)
	11:30		
	12:30	講義 「教育相談としての7分面談について」 教育相談としての7分面談の理論と具体的な技法を使った面談の実際を解説する。	甲南大学 教授 定金 浩一 (生徒指導法・特別支援教育・教育相談・教育心理)
	14:00		
	14:15	講義・ワーク 「通常学級での発達支援、その理解と対応」 通常の学級に在籍する児童・生徒に適切な発達支援をするため、発達障害について理解し、学級で可能な支援について考える。	甲南大学 教授 大西 彩子 (社会心理学・臨床心理学)
	15:45		

※ 実施教室 甲南大学 10号館1階 1012教室 (予定)

※ 受付場所 甲南大学 10号館1階 1012教室前 (予定)

※ 受付開始 9:30 講義 10:00~15:45

※ 持参物 筆記具

※ 昼食は、各自御持参ください。

※ 研修会場には駐車場がありませんので、会場へは公共交通機関を利用してください。

※ 特別警報発表等非常時は県立総合教育センターと甲南大学の取扱規定により研修を中止する場合があります。研修を中止する場合は、県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修 Web サイトでお知らせします。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>県立神出学園</b>
教育課題研修(生徒指導・カウンセリング)	

場所 県立神出学園 多目的ホール (神戸市西区神出町小束野 30)

月日	時間	内 容	講 師	場 所
8/4 (火)  または 8/18 (火)	10:00	受付		多目的ホール
	10:30	開講		
	10:35	講義「神出学園の不登校支援」	県立神出学園 校長 吉田 利徳	
	11:20	学園紹介・施設見学 ※参加人数によって昼食時間と調整		
	12:20	< 休憩 昼食 >		
	13:20	講演・協議「不登校の子どもたちへの理解と支援」 質疑応答	8/4日 関西福祉大学 名誉教授 佐伯 文昭 8/18日 神戸女子大学 教授 伊藤 美奈子	多目的ホール
15:05	グループワーク	県立神出学園 主任専門指導員 等	多目的ホール 特別研修室	
15:45	アンケート		多目的ホール	
15:50	閉講			

- 1 受付場所 県立神出学園 多目的ホール
- 2 受付開始 10:00
- 3 持参物 当日資料 (研修日の約1週間前に神出学園のホームページにアップロードします。)  
筆記用具、上靴、靴袋。
- 4 交通手段 自家用車可
- 5 その他
  - ・特別警報発表等非常時は県立総合教育センターと県立神出学園の取扱規定により研修を中止する場合があります。研修を中止する場合は、県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修Webサイトでお知らせします。
  - ・屋外施設の見学が予定されているため、動きやすい服装で参加してください。また空調の状態によって調節ができる服装で参加してください。熱中症予防のため各自必要な飲み物を持参し、適宜水分補給を行ってください。
  - ・敷地内は全面禁煙です。
  - ・昼食は研修の一環として、原則として本学園の食堂の給食を御利用ください。アレルギー等で食事に配慮が必要な場合は、申込時にお伝えください。申込後の昼食のキャンセルはできません。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	JICA 関西
教育課題研修(グローバル教育)	

場所 独立行政法人国際協力機構 関西センター(神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2)

月日	時間	研修内容	講師・助言者	研修場所
8/25 (火)	9:30	受付	高校教育研修課 指導主事	2階 ブリーフィング グループ ーム
	9:50	研修のねらいや目的		
	10:00	講義 ・本日のプログラムの趣旨説明 ・JICA事業概要説明 ・施設説明	独立行政法人 国際協力機構 関西国際センター(JICA関西) 市民参加協力課 蓬萊 朋子 (所属:株式会社DNPコアライズ)	
	11:00	講義・演習 ・JICAの開発教育支援事業の活用 ・JICA海外協力隊体験談	JICA国際協力推進員(兵庫県担当) 江川 雅美	
	12:00			
	12:00			
	13:00	ワークショップ 「地球市民(グローバル・シティズン) を育む教育とは」	認定NPO法人 開発教育協会 (DEAR) 代表理事 佐藤 友紀	
	14:40			
	14:50	JICA海外協力隊経験教職員による実践 共有	元 JICA海外協力隊 県立明石城西高等学校 教諭 松本 倫実	
	15:50			
	15:50	協議「研修の振り返り」	高校教育研修課 指導主事	
	16:00			
16:00	連絡会	高校教育研修課 指導主事		

- 1 受付場所 JICA関西
- 2 受付時間 2階ブリーフィングルーム前受付9:30から9:50まで
- 3 持参物 筆記用具、昼食(館内には食堂もあります)
- 4 その他 駐車・駐輪スペースはありません。公共交通機関を御利用ください。  
特別警報発表等非常時は県立総合教育センターと JICA 関西の取扱規定により研修を中止する場合があります。研修を中止する場合は、県立総合教育センター高等学校中堅教諭等資質向上研修 Web サイトでお知らせします。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>県立但馬やまびこの郷</b>
<b>教育課題研修(生徒指導・不登校)</b>	

場所 ウィズあかし (〒673-0886 兵庫県明石市東仲ノ町6-1)

月日	時間	内 容	講 師
10/22 (木)	9:45	受付	
	10:00	開会 挨拶	県立但馬やまびこの郷 所長 齊藤 誠一
	10:15	演習・協議	県立但馬やまびこの郷 指導主事
	12:00	< 休憩 昼食 >	
	13:00	演習・協議	県立但馬やまびこの郷 指導主事
	14:30	講義 「医療の視点から不登校児童生徒の支援について」	たかみやこころのクリニック 院長 高宮 静男
	15:40	閉会行事	県立但馬やまびこの郷 指導主事
	16:00	閉会	

- 1 受付場所 ウィズあかし
- 2 受付時間 9:45
- 3 実施場所 ウィズあかし
- 4 持参物 筆記用具、昼食
- 5 交通手段 JR神戸線または山陽電鉄「明石駅」下車、徒歩約3分
- 6 その他

※ 敷地内はすべて禁煙です。

※ 講義、演習・協議の主な内容は、小・中学生の不登校支援についてのものです。

※ 研修資料につきましては、各自でダウンロードの上、御持参ください。

※ 警報発表等非常時は県立総合教育センターと県立但馬やまびこの郷の取扱規定により研修を中止する場合があります。研修を中止する場合は、県立総合教育センター高校教育研修課の中堅教諭等資質向上研修のWebサイトでお知らせします。

令和8年度 中堅教諭等資質向上研修	<b>県立総合教育センター</b>
<b>教育課題研修</b>	

場所 県立総合教育センター（加東市山国 2006-107）

※講座内容については『令和8年度 教職員研修のしおり』を参照してください。

月 日	【講座番号】 講座名	講 師
7/7 (火)	【ⅢA1101】 学校事故等への適切な対応と安全指導 －学校における危機管理講座－	尼崎駅前法律事務所 弁護士 曾我 智史
8/10 (月)	【ⅢB1303】 課題を発見し解決していくリーダーシップ －学校組織活性化における教員の在り方講座－	立教大学 統括副総長 石川 淳
7/29 (水)	【ⅢC1323】 課題を発見し解決していくための資質・能力の育成 －（高）生徒の探究的な学びを実現する授業づくり講座－	関西学院大学 教授 關谷 武司
7/2 (木) ～ 7/15 (水)	【ⅢD1501】 発達支持的生徒指導の考え方と実践の視点 (VOD 研修)	関西外国語大学 教授 新井 肇 神戸親和大学 教授 松本 剛 兵庫教育大学 副学長 秋光 恵子 兵庫教育大学大学院 教授 井澤 信三
7/22 (水)	【ⅢD1502】 学級集団を意識したいじめ問題への理解と対応	兵庫教育大学大学院 准教授 森本 哲介
8/28 (金)	【ⅢD1503】 発達障害の可能性のある児童生徒といじめ問題	兵庫教育大学大学院 教授 井澤 信三
6/22 (月)	【ⅢD1504】 不登校傾向のある児童生徒への理解と支援	兵庫教育大学大学院 教授 遠藤 裕乃
10/1 (木)	【ⅢD1505】 不登校児童生徒の理解と保護者への支援	神戸親和大学 教授 松本 剛
8/7 (金)	【ⅢD1506】 児童生徒への自殺予防教育	関西外国語大学 教授 新井 肇
11/27 (金)	【ⅢD1507】 学校における被虐待児童生徒への理解と支援	摂南大学 教授 田中 晶子 太子町教育委員会 スクールソーシャルワーカー 三浦 知子
7/6 (月)	【ⅢE1301】 体系的・系統的なキャリア教育の充実に向けて －（高）キャリア教育推進講座－	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 東北福祉大学 教授 長田 徹
10/28 (水)	【ⅢE1102】 今日的な人権課題の解決に向けて －人権教育講座－	大阪教育大学 名誉教授 森 実
7/8 (水)	【ⅢE1103】 自らの生命を守るために主体的に行動できる児童生徒の育成に向けて －震災に学ぶ防災教育講座－	県立総合教育センター 指導主事

月 日	【講座番号】 講座名	講 師
11/19 (木)	【ⅢE1104】 コミュニケーション能力の育成と学級集団づくり ー演劇で学ぶコミュニケーション能力育成講座ー ※11/19 は芸術文化観光専門職大学で実施	芸術文化観光専門職大学 学 長 平田 オリザ
1/21 (木)		
1/21 (木)	【ⅢF1401】 児童生徒が主体となる情報モラルの授業づくり	県立総合教育センター 指導主事
6/18 (木)	★【ⅢF1402】 学校全体で取り組む情報セキュリティ ー学校情報資産の適切な管理ー	県立総合教育センター 指導主事
10/22 (木)	【ⅢF1403】 情報と上手く向き合うために ー児童生徒のメディア・リテラシーの育成をめざすー	神戸新聞社 経営企画局情報リテラシー支援部 次 長 網 麻子
9/18 (金)	★【ⅢF1404】 Google Workspace を活用した授業づくり ー授業における基本的な使い方ー	県立総合教育センター 指導主事
9/10 (木)	★【ⅢF1405】 Office365 を活用した授業づくり ー授業における基本的な使い方ー	県立総合教育センター 指導主事
7/9 (木)	★【ⅢF1406】 教育用クラウドを活用した探究的な学びを考える	中京大学 教 授 泰山 裕
12/16 (水)		
7/31 (金)	★【ⅢF1407】 教育データを学習・生活指導に繋げる ー児童生徒の学習状況・健康情報を手がかりにー	県立総合教育センター 指導主事
12/4 (金)		
9/25 (金)	★【ⅢF1408】 身近なデータを活かす授業づくり	電気通信大学 教 授 佐野 遼太郎
1/29 (金)	★【ⅢF1409】 ICT を活用した学習支援 ー実物投影機・大型提示装置等・タブレットの活用ー	県立総合教育センター 指導主事
10/8 (木)	★【ⅢF1410】 3D プリンタを活用したものづくり	県立総合教育センター 指導主事
10/14 (水)		
10/30 (金)	【ⅢF1411】 学校におけるドローンの活用	県立総合教育センター 指導主事
11/5 (木)		
11/19 (木)	★【ⅢF1412】 学校におけるVR技術の活用	県立総合教育センター 指導主事
11/27 (金)		
7/7 (火)	★【ⅢF1413】 生成AIで広がる授業の可能性	東京大学 大学院工学系研究科 准教授 吉田 墨
6/10 (水)	★【ⅢF1414】 校務効率化のための生成AI活用	県立総合教育センター 指導主事
10/9 (金)	【ⅢG1201】 障害のある子どもをもつ保護者とつながる支援	神戸大学大学院 准教授 山根 隆宏

月 日	【講座番号】 講座名	講 師
5/25 (月)	【III G1202】 発達障害の特性理解と具体的な指導・支援方法	県立総合教育センター 指導主事
7/29 (水)	【III G1203】 インクルーシブ教育システムの推進に向けた合理的配慮の提供	立命館大学 教授 村田 観弥
11/6 (金)	【III G1204】 ICT を活用した障害特性に応じた指導・支援の工夫	近畿大学九州短期大学 講師 立石 力斗
10/8 (木)	【III G1205】 特別支援教育の視点を用いた問題行動への対応	高知大学 講師 宮田 賢吾
6/29 (月)	【III G1206】 強度行動障害のある子どもへの理解と支援の実際	兵庫教育大学大学院 教授 岡村 章司
7/21 (火)	【III G1207】 特別支援教育の視点を取り入れた音楽の授業づくり	ヴァイオリニスト・社会教育士 生涯学習開発財団認定ワークショップ プロデューサー 南條 由起
11/5 (木)	【III G1208】 特別支援教育の視点を取り入れた図画工作・美術の授業づくり	神戸芸術工科大学 特任教授 大槻 和浩
8/12 (水)	【III G1209】 すべての児童生徒等に分かりやすいユニバーサルな授業づくり	桃山学院大学 教授 松久 眞実
7/7 (火)		常葉大学 特任教授 笹森 洋樹
12/8 (火)		県立総合教育センター 指導主事
9/11 (金)	【III G1210】 特別支援教育の視点を取り入れた体育の授業づくり	大阪体育大学 准教授 曾根 裕二
9/18 (金)		
10/19 (月)	【III G1211】 障害のある子どもへの性に関する指導の在り方を考える	神戸親和大学 准教授 瀬戸山 悠
7/24 (金)	【III G1212】 発達障害のある子どもの進路指導	高松大学 教授 山口 明乙香

※上記講座から、教育課題研修として1つの講座を選択し、『令和8年度 教職員研修のしおり』の p80～p81 を参照し、各自で受講申込を行ってください。また、実施要項等詳細については、教職員研修管理システムで確認してください。研修実施約1か月前に掲載予定です。

※動画視聴（VOD）による研修の詳細は、『令和8年度 教職員研修のしおり』の p79 を確認してください。

※★マークのある講座は、eラーニングを活用した事前研修があります。詳細は、『令和8年度 教職員研修のしおり』の p79 を確認してください。

(様式1)

## 高等学校中堅教諭等資質向上研修 研修計画調書

受講番号		受講者名		教科名	
所属校				校長名	

### 1 受講者がこれまで受講した研修経験等(受講者記入)

### 2 資質・能力の向上の必要性に関する事前評価(学校長・受講者記入)

本研修の受講にあたり、現在の資質向上の必要性等について、p5の「兵庫県教員資質向上指標」に基づき、評価の上、記入してください。(数字の丸囲みは第2期(6~20年目)の重点的に研修に取り組む項目)

記入上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記入に当たって、受講者は学校長とよく協議する。</li> <li>・ 「研修の必要性」欄について、受講者と学校長は、受講者が中堅教諭としての職務を遂行する上で、必要とされる資質・能力のさらなる向上を図るために、研修が特に必要と考える項目には◎印、必要と考える項目には○印を記入する。</li> </ul>
---------	---

	兵庫の教育課題への対応	研修の必要性		
		本人	校長	
教育課題への取組	1 地域の人的・物的資源を活用し、発達段階に応じて兵庫型「体験教育」を実践することができる。			
	② 国際社会で活躍する意欲や態度を育成するなど、グローバル化に対応した教育を実践することができる。			
	3 伝統や文化を尊重し、ふるさと兵庫を愛する態度を養うことができる。			
	④ 「参画と協働が拓く兵庫の未来」等の指導事例集や副教材を活用し、児童生徒の政治的教養を高め、主体的に社会の形成に参画し協働しようとする態度を養うことができる。			
	5 阪神・淡路大震災の記憶が風化することを防ぐとともに、その経験と教訓を活かし、主体的に判断して実践する力、助け合いやボランティア精神等共生の心を育む「兵庫の防災教育」を推進することができる。			
	⑥ 幼小中高大の新たな接続・連携に伴う変化に対応し、さらなる充実をめざした取組を行うことができる。			
	7 部活動の実施に当たっては、安全に配慮しながら生徒の自主性、協調性、責任感、連帯感などを育てることができる。			
	9 豊かなスポーツライフを継続する資質・能力の育成をめざし、児童生徒が主体的に体力・運動能力向上を図る態度を育てることができる。 【小・中高(保体)】			
		特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応		研修の必要性
		本人	校長	
	⑩ インクルーシブ教育システムの理念を理解し、すべての児童生徒等に分かりやすいユニバーサルな授業づくりや互いに認め支え合う集団づくりができる。			
	11 特別支援学級や通級による指導、日本語指導など特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。			
	⑫ 保護者や関係機関と連携を図りながら、個別的教育支援計画や個別の指導計画を作成し、児童生徒等の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うことができる。			
	ICTや情報・教育データの利活用		研修の必要性	
		本人	校長	
	13 Society5.0時代を生き抜いていく児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力を育成するための指導を行うことができる。			
	14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。			
	15 各校の情報セキュリティ実施手順等に基づき、校内の情報を適切に管理し、取り扱うことができる。			
	⑯ 学習履歴等のデータを活用し、児童生徒の学習の改善を図ることができる。			



資質を高める自律性	自己管理能力・変革力	研修の必要性	
		本人	校長
42	日頃から、ストレスマネジメントに努めるとともに、教員として自覚ある行動をとることができる。		
43	適切な言動を心がけ、児童生徒や保護者等からの信頼確保に努めている。		
44	自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。		
45	日々の実践等を振り返り、主体的に自らの教育活動の工夫・改善に努めている。		

3 中堅教諭等資質向上研修全体を通して身に付けたい資質・能力 (受講者記入)

4 研修に当たって校長が期待すること (学校長記入)

<記入上の注意>

- ・フォント：MS明朝、文字サイズは縮小可

(様式2)

受講番号



## 高等学校中堅教諭等資質向上研修 教育課題研修

### 大学・県内教育機関で実施される研修 (2日分)希望調査

※(様式2)は、教育課題研修(計3日)のうち、標記の研修2日分の希望調査です。

※残りの1日分については、県立総合教育センターの選択研修講座から各自で申し込んでください。  
(「令和8年度 教職員研修のしおり」のp80～p81を参照)

#### <希望について>

※**県内の大学・教育施設による研修(p9のNo.111～No.173)**の中から、選択を希望する講座の第1～第4希望を入力してください。**必ず第4希望まで入力**してください。

	研修場所	研修予定日	研修内容(講義タイトル等)
第1希望			
第2希望			
第3希望			
第4希望			

※教科指導研修、及び教育課題研修(県立総合教育センターの選択研修講座による研修1日分)の研修予定日と、**日程の重なりがないことを十分に確認してから**、管理職を通じて5月25日(月)までに提出してください。

(様式3)

### 高等学校中堅教諭等資質向上研修 研修計画書

受講番号		受講者名	
所属校			

校内研修の日数が足りません。確認の上、修正してください。

#### 1 校外研修

##### (1) 共通研修 (3日)

目標				
回	研修の概要	研修予定日	具体的研修内容	指標番号
1		月 日 ( )		
2		月 日 ( )		
3		月 日 ( )		

##### (2) 教科指導研修 (4日)

目標				
回	研修の概要	研修予定日	具体的研修内容	指標番号
1		月 日 ( )		
2		月 日 ( )		
3		月 日 ( )		
4		月 日 ( )		

##### (3) 教育課題研修 (3日)

目標				
回	大学等名または講座名	研修予定日	具体的研修内容	指標番号
1		月 日 ( )		
2		月 日 ( )		
3		月 日 ( )		

2 校内研修

(1) 教科指導 実地研修Ⅰ－教科指導研修(校外研修)での学びを生かした授業研究－(5日～7日)

目 標				
回	研修の概要	研修予定日	具体的研修内容	指標番号
1		月 日( )		
2		月 日( )		
3		月 日( )		
4		月 日( )		
5		月 日( )		
6		月 日( )		
7		月 日( )		

(2) 教科指導 実地研修Ⅱ－各自が設定したテーマの実現に向けた授業改善－(5日～7日)

目 標				
回	研修の概要	研修予定日	具体的研修内容	指標番号
1		月 日( )		
2		月 日( )		
3		月 日( )		
4		月 日( )		
5		月 日( )		
6		月 日( )		
7		月 日( )		

(3) 生徒指導 実地研修－生徒指導上の課題への組織的対応－(2日～5日)

目 標				
回	研修の概要	研修予定日	具体的研修内容	指標番号
1		月 日( )		
2		月 日( )		
3		月 日( )		
4		月 日( )		
5		月 日( )		

(4) 職務に応じた専門性向上研修－校務分掌に関連する能力の向上、課題解決－(2日～5日)

目 標				
回	研修の概要	研修予定日	具体的研修内容	指標番号
1		月 日( )		
2		月 日( )		
3		月 日( )		
4		月 日( )		
5		月 日( )		

<記入上の注意>

- ・受講者が記入すること。(フォント：MS明朝、文字サイズは縮小可)
- ・校内研修は合計20日以上となるように計画し、研修内容については、主なものを具体的に記入すること。
- ・指標番号は、校外研修はp8～p11記載の指標番号を、校内研修は冊子p5「兵庫県教員資質向上指標」を確認し、研修内容に基づいた数字を記入すること。

(様式4)

## 高等学校中堅教諭等資質向上研修 研修報告書

受講番号		受講者名		
所属校				
校長名			教科	

校内研修の日数が足りません。確認の上、修正してください。

### 1 校外研修

#### (1) 共通研修 (3日)

回	研修の概要	研修日		具体的研修内容
1	共通①	月	日	
2	共通②	月	日	
3	共通③	月	日	
研修成果				

#### (2) 教科指導研修 (4日)

回	研修の概要	研修日		具体的研修内容
1	教科指導①	月	日	
2	教科指導②	月	日	
3	教科指導③	月	日	
4	教科指導④	月	日	
研修成果				

#### (3) 教育課題研修 (3日)

回	大学等名または講座名	研修日		具体的研修内容
1		月	日	
研修成果				
2		月	日	
研修成果				
3		月	日	
研修成果				

## 2 校内研修

### (1) 教科指導 実地研修Ⅰ－教科指導研修(校外研修)での学びを生かした授業研究－(5日～7日)

回	研修の概要	研修日	具体的研修内容
1		月 日	
2		月 日	
3		月 日	
4		月 日	
5		月 日	
6		月 日	
7		月 日	
研修成果			

### (2) 教科指導 実地研修Ⅱ－各自が設定したテーマの実現に向けた授業改善－(5日～7日)

回	研修の概要	研修日	具体的研修内容
1		月 日	
2		月 日	
3		月 日	
4		月 日	
5		月 日	
6		月 日	
7		月 日	
研修成果			

### (3) 生徒指導 実地研修－生徒指導上の課題への組織的対応－(2日～5日)

回	研修の概要	研修日	具体的研修内容
1		月 日	
2		月 日	
3		月 日	
4		月 日	
5		月 日	
研修成果			

### (4) 職務に応じた専門性向上研修－校務分掌に関連する能力の向上、課題解決－(2日～5日)

回	研修の概要	研修日	具体的研修内容
1		月 日	
2		月 日	
3		月 日	
4		月 日	
5		月 日	
研修成果			

#### <記入上の注意>

- ・ 受講者が記入すること。(フォント：MS明朝、文字サイズは縮小可)
- ・ 校内研修は日数を確認のうえ、合計20日以上となるように計画し、研修内容については、主なものを具体的に記入すること。
- ・ 提出の際は、研修日の日程に重なりがないことを十分に確認すること。

## 高等学校中堅教諭等資質向上研修 研修報告調書

学校名			
受講者名		受講番号	
校長名		教科	

### 1 当初の目標に対する自己評価 (受講者記入)

### 2 研修の実施状況及び今後の必要性について (学校長・受講者記入)

本研修の実施状況を踏まえ、今後の研修の必要性について、「兵庫県教員資質向上指標」に基づき評価します。(数字の丸囲みは第2期(6~20年目)の重点的に研修に取り組む項目)

記入上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「実施状況」欄について、本研修の校外研修・校内研修で研修した項目に●印を記入する。</li> <li>・「実施状況」の校外研修は、研究会・研修会等及び研修所講座を含む。</li> <li>・「今後深めたい項目」欄について、受講者と校長は、受講者が今後さらに専門性を伸ばすために、研修が特に必要と考える項目には◎印、必要と考える項目には○印を記入する。</li> </ul>
---------	--

教育課題への取組	兵庫の教育課題への対応	実施状況		今後深めたい項目	
		校外研修	校内研修	本人	校長
	1 地域の人的・物的資源を活用し、発達段階に応じて兵庫型「体験教育」を実践することができる。				
	② 国際社会で活躍する意欲や態度を育成するなど、グローバル化に対応した教育を実践することができる。				
	3 伝統や文化を尊重し、ふるさと兵庫を愛する態度を養うことができる。				
	④ 「参画と協働が拓く兵庫の未来」等の指導事例集や副教材を活用し、児童生徒の政治的教養を高め、主体的に社会の形成に参画し協働しようとする態度を養うことができる。				
	5 阪神・淡路大震災の記憶が風化することを防ぐとともに、その経験と教訓を活かし、主体的に判断して実践する力、助け合いやボランティア精神等共生の心を育む「兵庫の防災教育」を推進することができる。				
	⑥ 幼小中高大の新たな接続・連携に伴う変化に対応し、さらなる充実をめざした取組を行うことができる。				
	7 部活動の実施に当たっては、安全に配慮しながら生徒の自主性、協調性、責任感、連帯感などを育てることができる。【中・高】				
	9 豊かなスポーツライフを継続する資質・能力の育成をめざし、児童生徒が主体的に体力・運動能力向上を図る態度を育てることができる。【小・中高(保体)】				
	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	実施状況		今後深めたい項目	
		校外研修	校内研修	本人	校長
	⑩ インクルーシブ教育システムの理念を理解し、全ての児童生徒等に分かりやすいユニバーサルな授業づくりや互いに認め支え合う集団づくりができる。				
	11 特別支援学級や通級による指導、日本語指導など特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。				
	⑫ 保護者や関係機関と連携を図りながら、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、児童生徒等の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うことができる。				
	ICTや情報・教育データの利活用	実施状況		今後深めたい項目	
		校外研修	校内研修	本人	校長
	13 Society5.0時代を生きていく児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力を育成するための指導を行うことができる。				
	14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。				
	15 各校の情報セキュリティ実施手順等に基づき、校内の情報を適切に管理し、取り扱うことができる。				
	⑬ 学習履歴等のデータを活用し、児童生徒の学習の改善を図ることができる。				

	授業実践力・授業改善力	実施状況		今後深めたい項目		
		校外研修	校内研修	本人	校長	
学習指導	17	学校教育目標や児童生徒の実態を踏まえた年間指導計画を作成し、計画的に授業を進めることができる。				
	18	学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。				
	⑱	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。				
	20	評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。				
専門性・探究力		実施状況		今後深めたい項目		
		校外研修	校内研修	本人	校長	
	⑳	児童生徒や地域の実態に応じた教材を開発するなど、効果的な教科カリキュラムを編成することができる。				
	㉑	全国学力・学習状況調査結果等自校の課題を分析し、組織的・体系的な学力向上の取組ができる。				

	集団を高める力	実施状況		今後深めたい項目		
		校外研修	校内研修	本人	校長	
学級・HR経営、生徒指導	23	自他の生命を尊重し、多様性を認め、様々な人権課題を解決しようとする実践的な行動力を育成することができる。				
	24	体験活動や実践活動を通して、児童生徒の道徳性の育成に努めている。				
	㉒	インターネット上の人権侵害及びいじめ、不登校等の各教育課題の緊急性や重要性を理解し、他の教職員や関係機関と連携しながらその予防・解決に取り組むことができる。				
	26	学校教育目標の実現に向け、学級経営案やホームルーム計画の立案・実行・改善ができ、児童生徒が安心して過ごせる学級づくりに取り組むことができる。				
	一人一人の能力を高める力		実施状況		今後深めたい項目	
		校外研修	校内研修	本人	校長	
	27	児童生徒との適切な距離を保ちながら、生活背景や内面の理解に努め、カウンセリングマインドをもって、児童生徒と接することができる。				
	28	社会的・職業的自立の基盤となる能力や態度の育成等を通して、児童生徒のキャリア発達を促すことができる。				
	㉓	児童生徒が自らのよさや可能性を認識し、多様な他者と協働する力を身に付けられるよう指導することができる。				
	30	児童生徒の健康課題を的確に捉え、それを解決するための保健教育や保健指導ができる。				
	㉔	偏食傾向や肥満傾向、食物アレルギー等の健康課題を抱える児童生徒に対し、個別の相談指導ができる。				

チームで職務を担う体制づくり	協働性・同僚性		実施状況		今後深めたい項目	
			校外研修	校内研修	本人	校長
	㉔	「業務量管理・健康確保措置実施計画」に基づき、児童生徒と向き合う時間の確保と、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、計画的に仕事を進めることができる。				
	33	児童生徒への指導等に関して、同僚・先輩や管理職等に相談し、指導に生かすことができる。				
	㉕	豊富な知識や経験を基に、若手教員に対し個性や特性に応じて支援するとともに、同僚と協働して学校の課題に取り組むことができる。				
35	課題解決に向け、校内の共通理解を図り、家庭・地域・関係機関等と連携して取り組むことができる。					
	組織的対応力		実施状況		今後深めたい項目	
			校外研修	校内研修	本人	校長
	36	学校教育目標の達成に向け、主体的、積極的に学校運営に参画することができる。				
	37	校内における自分の役割を認識し、校務分掌を的確かつ効率的に遂行できる。				
	㉘	家庭や地域社会と連携し、開かれた学校づくりに努めている。				
㉙	学校の危機管理マニュアルを理解し、事件や事故、トラブルに適切に対応することができる。					

資質を高める自律性	自己管理能力・変革力		実施状況		今後深めたい項目	
			校外研修	校内研修	本人	校長
	42	日頃から、ストレスマネジメントに努めるとともに、教員として自覚ある行動をとることができる。				
	43	適切な言動を心がけ、児童生徒や保護者等からの信頼確保に努めている。				
	44	自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。				
45	日々の実践等を振り返り、主体的に自らの教育活動の工夫・改善に努めている。					

### 3 校長から見た受講者の成長や今後に期待すること（学校長記入）

## 高等学校中堅教諭等資質向上研修の実施に係る非常時の対応について

台風等による気象警報の発表及び非常災害等非常事態が発生した場合、受講者の研修への参加については、下記のとおりとします。

### 記

- 1 研修実施日の午前6時に、特別警報（大雨、暴風、暴風雪、大雪等）や特別警報に位置付けられる大津波警報等が、兵庫県内に発表されている場合は研修を中止します。

※特別警報及び特別警報に位置付ける警報等については、気象庁の特別警報に関するWebサイトを御覧ください。

- 2 研修実施日の午前6時に、警報（大雨、洪水、暴風、津波、大雪等）が、研修会場所在地又は在勤地に発表されている場合の受講については、**所属長の指示**に従ってください。
- 3 その他、感染症（インフルエンザ等）の流行や公共交通機関の計画運休等、非常事態が発生したときも、**所属長の指示**に従ってください。
- 4 所属長の指示により、受講を取り止めることとなった場合、管理職を通じて研修担当課に連絡するとともに欠席等の手続きを行ってください。



受講番号	勤務校	名前
	学校	

研修期間：2026年4月1日～2027年3月31日